男一匹ガキ大将

万吉大あばれの巻

第3巻

本宮ひろ志

男一匹ガキ大将

●第3巻●

本宮 ひろ志

万吉 大あばれの巻

ガキ大将
万吉親分

男一匹、なにかでっかいことをやろうと東京にでてきた戸川万吉は、新幹線の車中でどえらい人間にでっくわした。

それはのっとり屋と呼ばれる水戸屋商事会長水戸正江であった。万吉はそのばばあのするどい眼光におそれをなし名古屋でおりてしまう。

歩いて東京へむかう途中、日本全国の浮浪者の総大将・カスミの大三郎を知り、浮浪者の精神をたたきこまれる。

東京についた万吉親分と眼帯の銀次が最初にぶつかったのが、全学連と機動隊の大乱闘だった。

それをけんかと思いこんだ万吉はその騒動のどまん中へダイナマイトをほうりこんで乱闘は止めたが、けが人をだし、逮捕されてしまった。

世論の力で、釈放された万吉は、友子の父の会社岡野建設が水戸のおばばにのっとられたのを知って、自分も相場師になり、おばばと対決し岡野建設の取戻しを誓った。

水戸正江

坊谷津光五郎

坊谷津光五郎を軍師とし、全国の浮浪者の仲間を味方とした万吉は、大人のけんかをやりだした。万吉の一番大事な物とははたして？

戸川万吉と眼帯の銀次

カスミの大三郎

浮浪者の仲間

目次

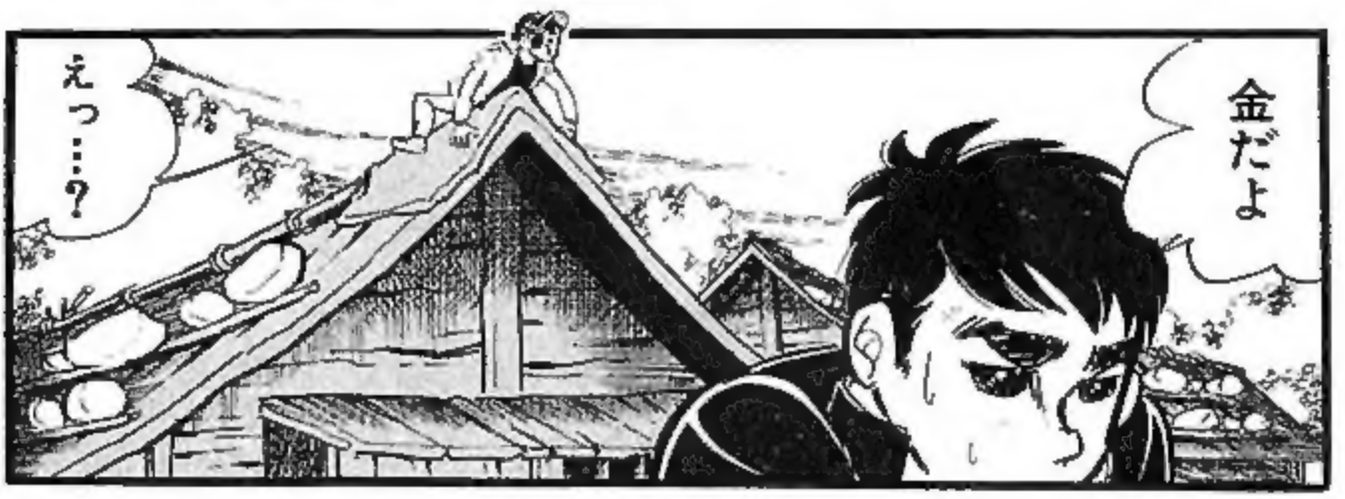
男一匹ガキ大将3

万吉 大あばれの巻

●銀次出番の巻……8
●やったぞ！ 銀次の巻……38
●軍資金はでけたの巻……68
●すべてを賭けろの巻……98
●新建材完成の巻……126
●台風なんぞぶっとばせの巻……156
●万吉 仁王立ちの巻……180

男一匹ガキ大将

銀次出番の巻



そうよ……
くっだらねえ……
これから相場をはろうって人間が……
一円の金もないくせさらして何が太陽がのぼるや
なにが地球がまわるじゃ
くそ～っ
わらえ
わらえよ銀次……
あはは……
こんなことに気がつかんと調子にのっていたとは……
へっへへ……
おっ……おやぶん

ふふ……
光五郎……
おみしゃん
軍師として
どうする
万吉には…
西海に
一千人の
子分が
います…
一千人の
子分……？
なるほど
しかし
……
できるか
それが…
万吉の
性格で…
できは
せんでしょう
な……
おそらく
考えも
すまい
しかし
銀次なら
やれる

最低百万はいる……

お金ねえ…

ひゃ……百万……

株を買うための資金や……
まともに働いて作ろうったってなん年かかるか……

だれかに借りるにしてもわいの知りあいに そんな金を借してくれる人間はおれへん……

わいの家はもちろん…
わいの知りあいいうたら…

まだ なにも知らんガキども…
浮浪者……それに破産した会社の社長……

ろくなもんは
おらんわい
おやぶん
!!
ひでえ
……
というに
ことかいて
そいつは
あんまりだぜ
ヘン……
ほんとうの
ことやないけ
なにが悪い…
気がつかん
かった
わいが
アホや……
なんでもかんでも
ことをおこす時は
…金……金が
必要だって
ことよ……
あかんでえ
……もう……
本気か!!
本気でそんな
ことといってる
のかよ親分!!
なんでえ
金がねえくらい
で くよくよ
しやがってえ
万吉親分らしく
ねえぜ……

百万ぐらいの金
この眼帯の銀次
さまが 作って
やろうじゃ
ねえか
よせよせ
わいにできん
ものが……
なんでおんどれ
なんぞに…
よけいな肩のひは
せんで 寝とる
方が 利口じゃ
ふふ……
わあああ
――っ

ふふ……
そんなに
腹がたつか
銀次

はっ……

わいかて腹がたっとるんじゃい!!
自分自身にな〜っ
どないしょうもあれへん

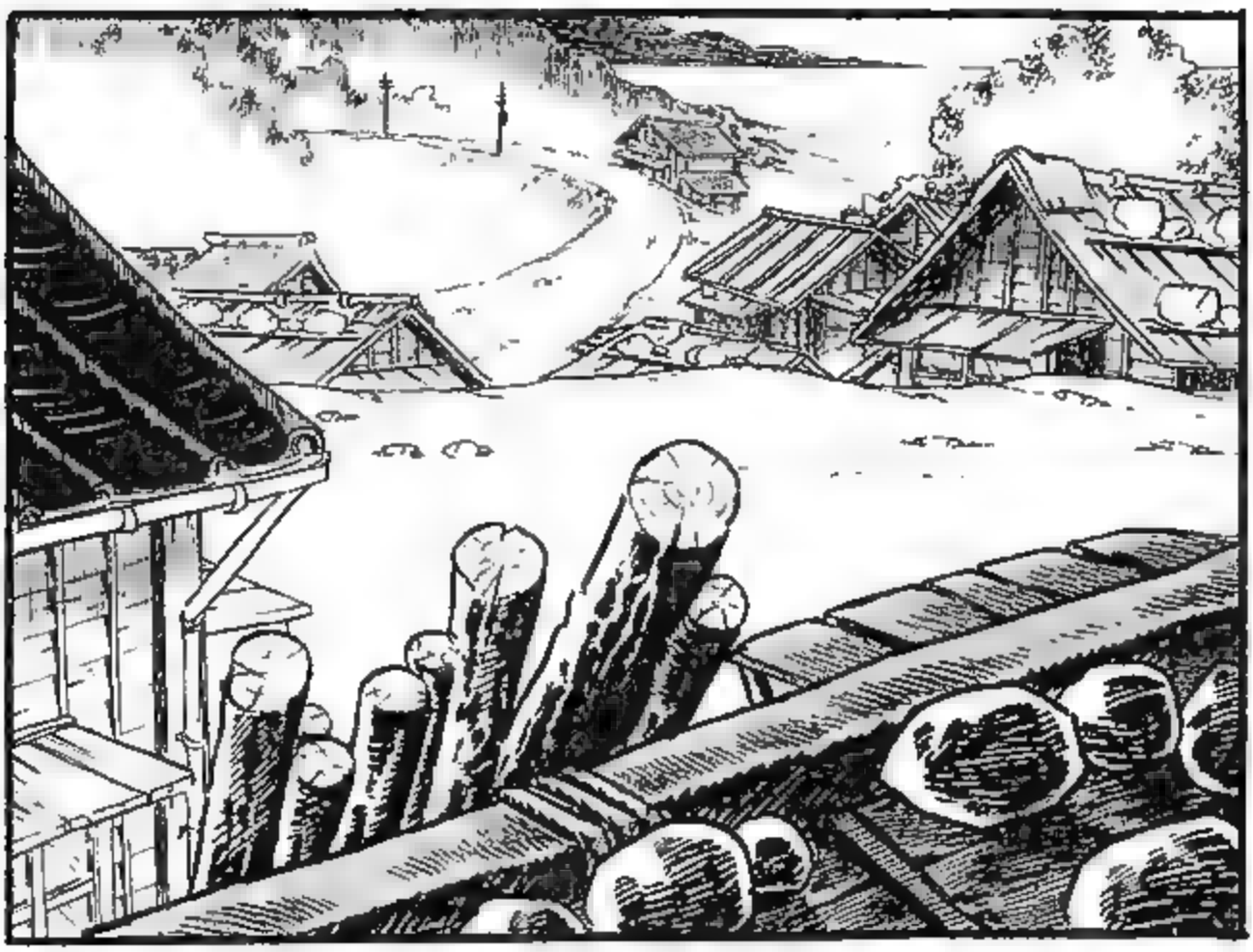
すまねえ親分……
だけど……おれっちだって真剣に考えてるんだ
それをあんなこというなんて……
どうしようもあるまい……
ン……
いままで 金の心配をしたことのない者が……
金に 気がついたんだ……
頭～っ
ふふ……
その頭というのはやめてくれんか
わしは ここの人間ではない……すでに

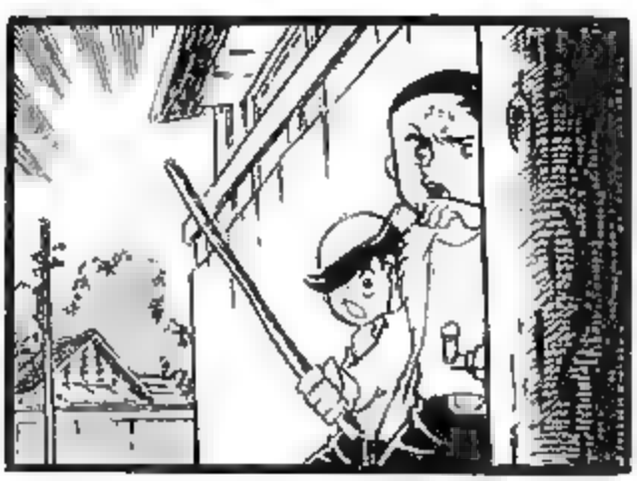
いまは戸川万吉の軍師だ……
いわば わしも子分のひとり…
そっ……
それじゃあ教えてくれ軍師!!
今おれっちは親分のためになにをやったらいいんだ……
おれだって…おれっちだってなにかできるはずだ……
金魚のうんちじゃあるめえしいつもうしろに立ってるだけじゃおもしろかねえぜ……
万吉親分の名代(みょうだい)として
すぐに西海へいけい……
よし!!

へ…
いいか……
なっ……
なにいっ
名代(なだい)として
……？
わかったか……
そうか
その手が！
その手があったんだ!!
そっ……
西海には一千人の子分がいたんだぜ
ちっくしょう!!
わかったらすぐにいけ!!
おおっ!!

はっ…
う……
うぐぐん

ふう……
いつのまにか
ねむっちまったらしいな
……
ふああ
くっ
ン……
ギロ…
ギロ
銀次だったらもう ここにはいないぜ親分……
ふっふふ
あんたにあいそをつかして……
でていっちまったよ
なっ……
……
そんなに怒ってたんか……
さあな……
銀次が……

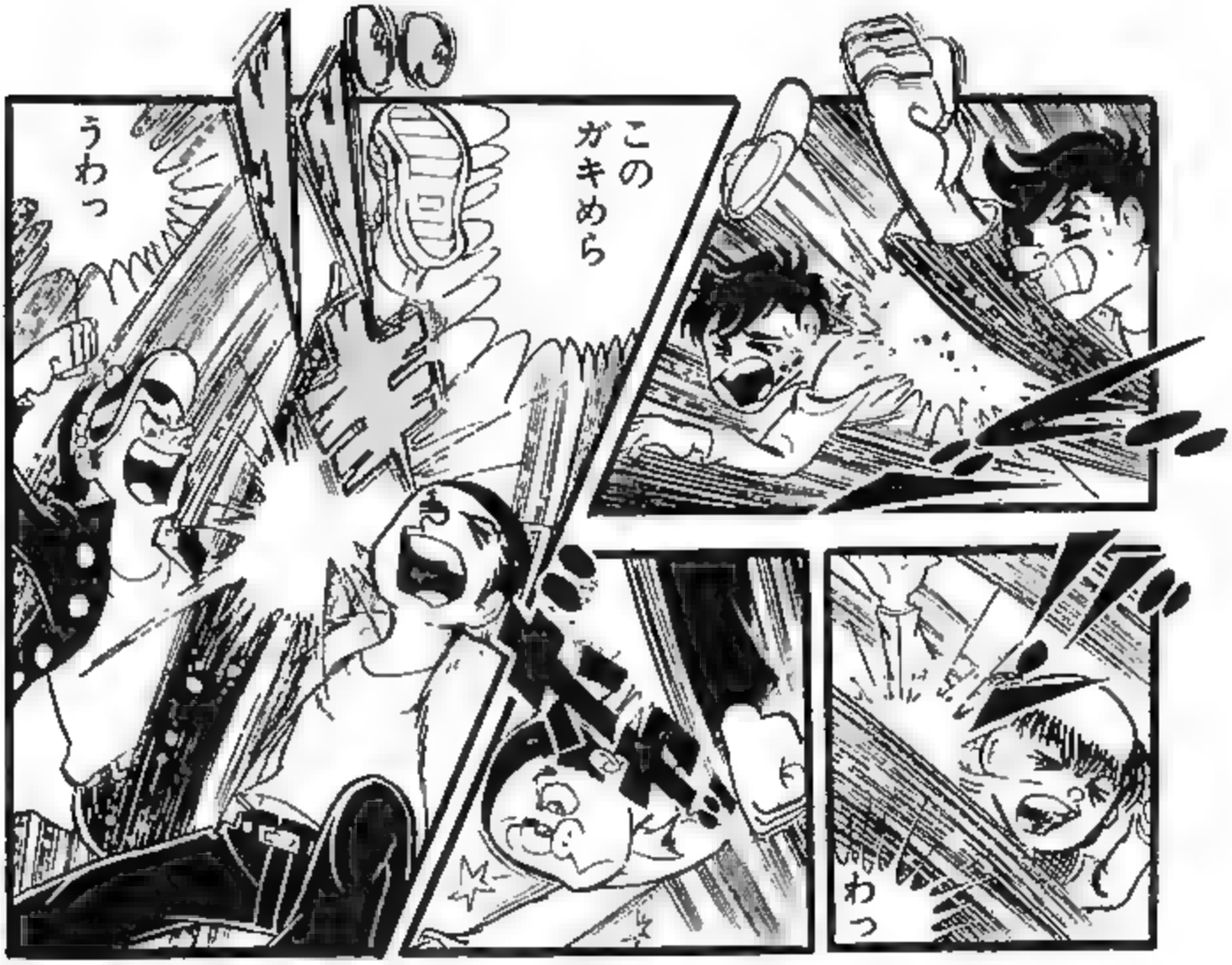




へへへ…

いくでえ……
おうっ

うわ〜〜っ
おんどりゃあーっ
まちやがれっ
おっ……きさまらは……
このくそガキーッ
ケーッ
まだニリ和えのわよ!!


わっ
このガキめら
うわっ

へっへへ……

まったくおうじょうぎわの悪いやつらじゃい……
まだわいらにさからう気やで……

あったりまえじゃ
おんどれら
なんぞにな
万吉一家の
ラッパさまが
なめられて
たまるかい!!
へっへっへ……
そう強情
はらんと…
どや
……
もうここいら
へんで わいらの
綱村はんの
いうこと聞いたら
うっ
!!
なめきらすな
アホンダラ
わいらを
なんや思う
とんね
万吉親分の
子分やど
このガキども
〜〜っ
ふざけ
……
うっ

う
ギャあ!!
お
ラッパの兄きどういうわけでえ……
こいつぁあ……

うわあーっ
銀次!!
銀次やないけ!!

ぎっ……
銀次…?

そっ……
それじゃあ
こいつが
眼帯の銀次か
……

まっ
まずい!!

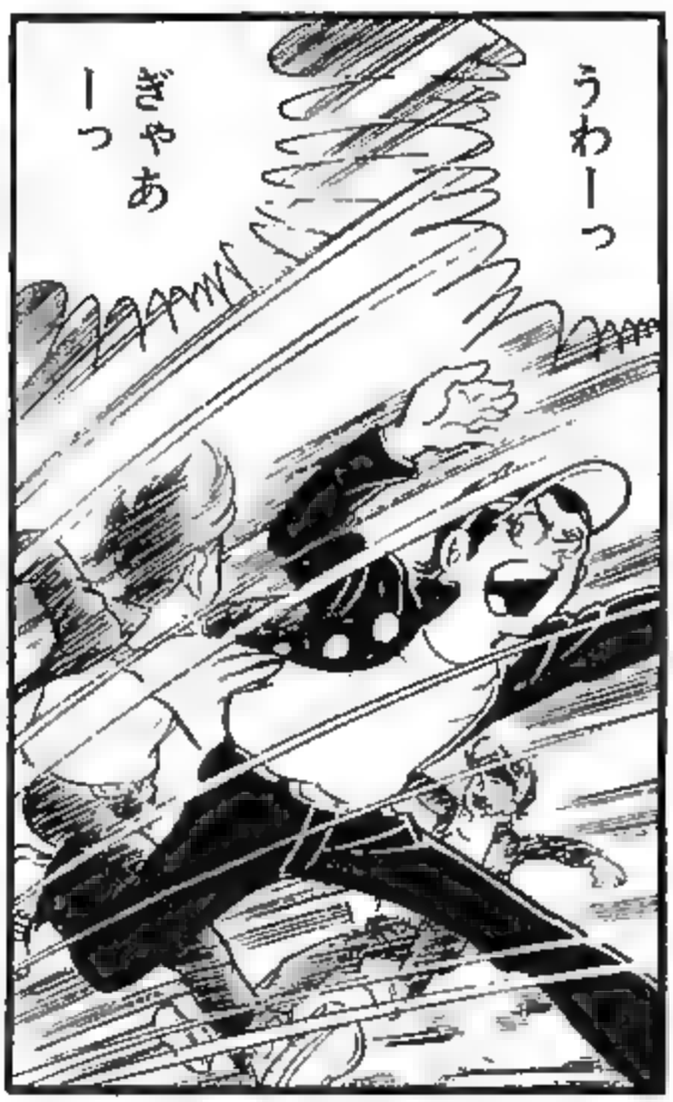
にげろ!!

待ちやがれい!!
ドドドドド
うっ

わけはあとで聞くとしてもだ……
おれっちの兄弟分たちをこんなに痛めつけてくれたいじょう……

ただあ帰すわけにゃあいかねえっ!!

ガッ
わっ


うわーっ
ぎゃあーっ

この〜っ
ひーっ

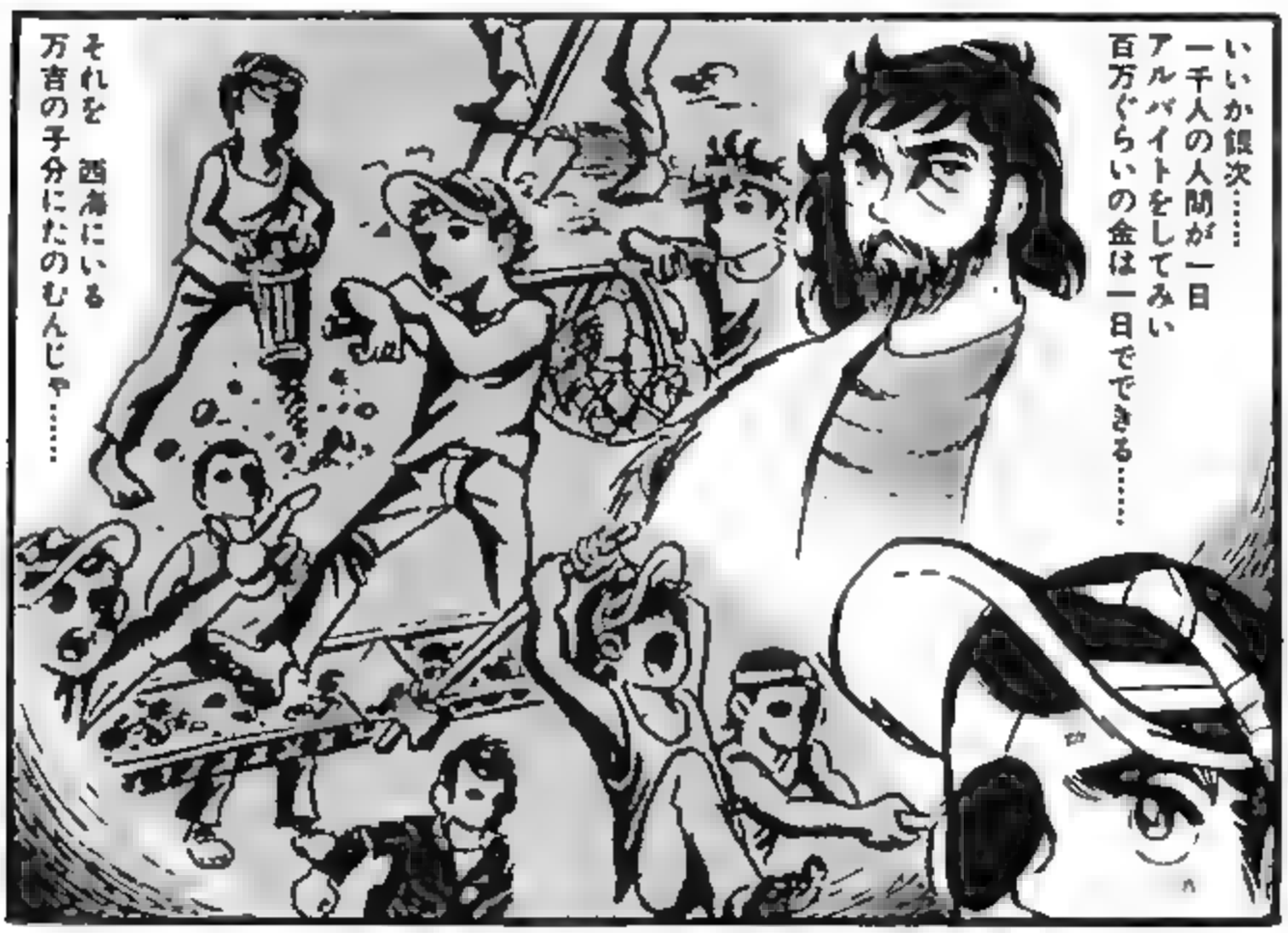
ばっきやろうっ!!
ゲッ
なめたまね……
あわわ……
しやがってえっ
ぎゃ
ちんぴらやろうが!!

万吉一家を
なんだと思って
やがる!!
かっ……
かんべんして
くれっ……
銀次
もうええ
もうええ
こんな
やつら
なんぞ…
それよっか
親分は
どないし
とるんや
いま　どこに
おるんや……
ぶじなん
やろな……
ドン
きえ
ろ…
ああ
元気だ
……
ほっ
ほんま
か……
それよりこっちは
いってえ　どう
したってんだ

綱村鉄次だとおっ!!
ああ……そうや万吉親分が東京へいくまえにぶちのめしたやっちゃ……
あっ……あの野郎が
あのガキ万吉親分が留守なのをいいことにしくさって
ほんまや……
急にえばりだしたんやで……

いま この西海で
あいつに勝てる
奴は おれへん
もんな……
松川は
どうした
……
それから
村田や
ゴンたちは!!
あかん
あかん……
いまじゃ
みんな
綱村の子分や
……
なっ……
なにい
それじゃ
万吉一家の
子分はいま
なん人
いるんだ
よ……
わいら
だけや……
わいら もう
万吉親分に
あわす顔が
あらへん…
ほんまや
……

まずい……
頭にいわれたことを
やるには　どうしても
一千人の子分が必要だ

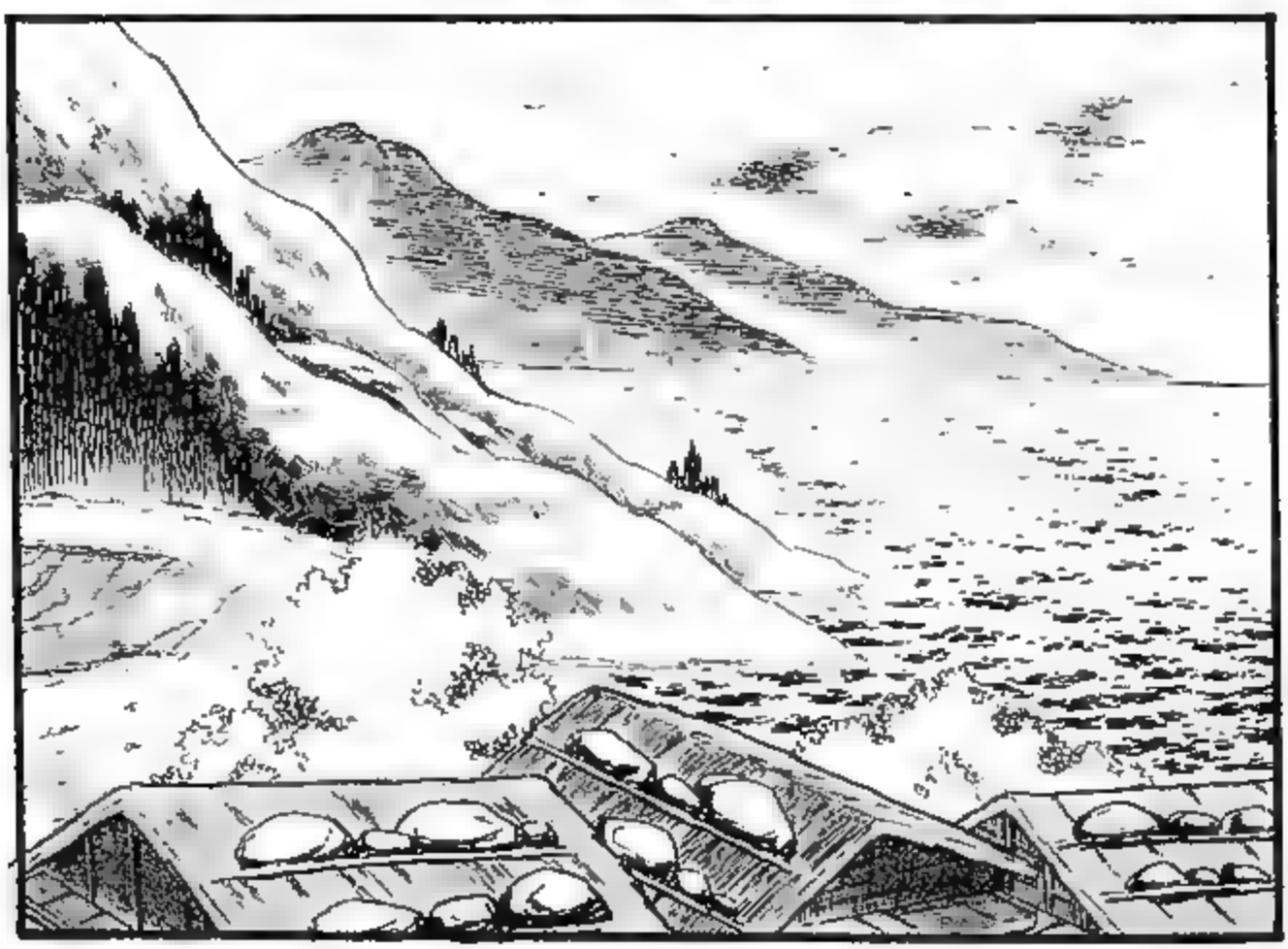

いいか銀次……
一千人の人間が一日
アルバイトをしてみい
百万ぐらいの金は一日でできる……
それを　西海にいる
万吉の子分にたのむんじゃ……

一日で百万だぜ…

ところでラッパ
綱村には
なん人子分が
いる……
今は一千人
ぐらいや…

だけど それは…
まえは みんな 万吉親分の 子分だった やっちゃ…
だから…… あいつのほんまの子分いうたら……
さっきの連中の ほかに二 三人 いるだけや
ほかの連中は みんな…… こわがって子分になっとる 思うんやけど……
親分に 心配 かけさせとうなかったから ずっと 知らせへんかったんや……
するてえと 問題は あの綱村だけだな…
あいつさえ ぶちのめして しまえば……
ことは すむんだな…
銀次 やるか…
やって くれるんでっか 兄き!!

ぐちをいうたってはじまらん…
わいは金を作ったる…
ガガガ
たとえ……10年かかっても20年かかっても…

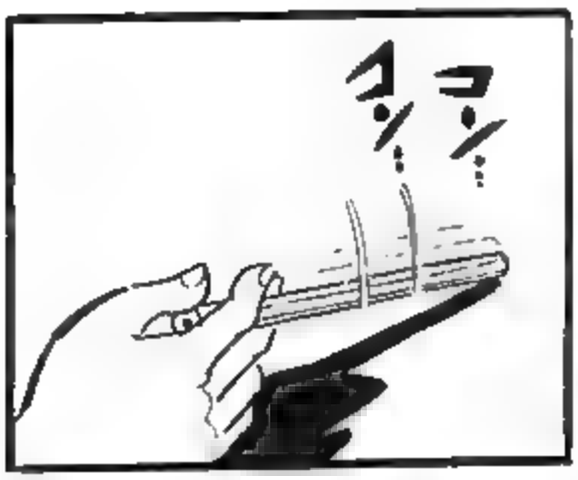


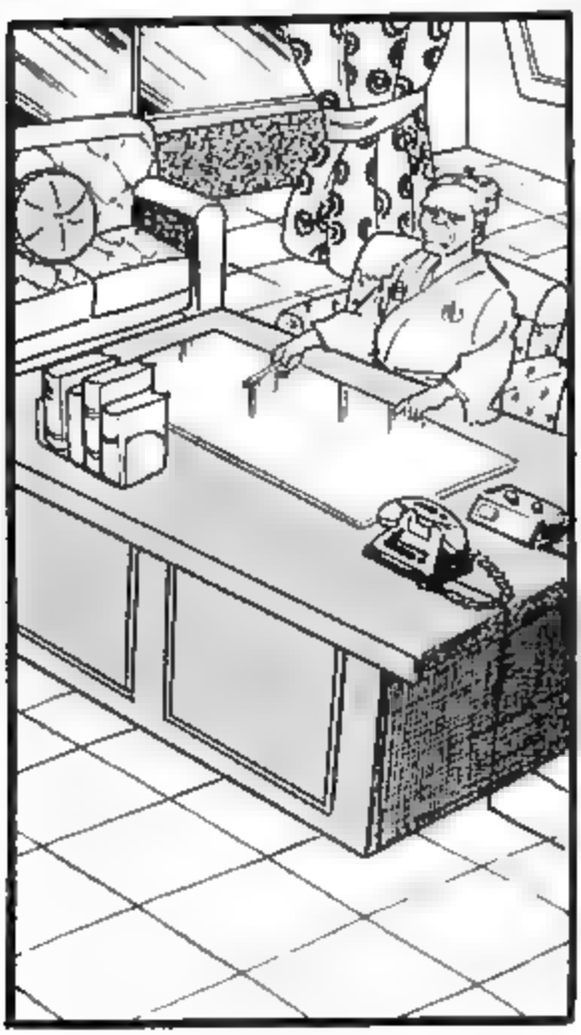
ひさしぶりだな 眼帯野郎……
へっ…てめえの目だって五十歩百歩だぜ……
そんなことより…
けんか状の文面しょうちだろうな…
サシで勝負して
きさまがわしに勝ったらもと万吉の子分を返せってことか…
ああ……おどかされていやいやてめえの子分になっとるみんなをな
万吉親分のかわりに 返してもらうぜ

へっ……
勝てると
思っとるのか
このわしに…
ごたくを
ならべてる
んじゃねえ!!
いくぜ
えっ!!
おおっ!!

やったぞ！銀次の巻

資金づくりに西海へとんだ銀次は
万吉一家をたてなおすため
網村と一騎討ち……
そのころ水戸のばばあは……





おそい
万吉め……
会長 沢田部長がおみえになりましたが…？
きたか!!
すぐとおしなさい
む！
いかん……わしとしたことがなにをあせっとるか
おう沢田!!
おそいではないか？

はあ…
それで
どうなんだ
その後の
万吉のうごき
は……
いやあ
おどろきました
あの少年の
軍師に…
かつて日本の財界を
あらしまわった
坊谷津光五郎が
いたとは……
ええい
!!
そんなこ
とは わか
っとる!!
そのあと
じゃ…
その後
どうしておる
万吉は……
建設
作業員を
やっとり
ます……
な……
なにいっ
建設
作業員
～～～っ
じつは
……

あのあと万吉はすぐ名古屋の浮浪者集落へいったんです
浮浪者集落……
日本全国にいる浮浪者を……
情報網か!!
ええ味方にしました
まずい!!
まずいぞっこいつは
万吉めっやりおるわい……
しかし…なぜ建設作業をやっとるんじゃ
金です……
金……
そのために眼帯の銀次が軍師の命令で…西海へとびました

おおっ!!
くぜえっ!!

銀次
たのむでえ…
ぶちのめし
たれっ
兄き
やって
おくんなさい

そりゃあああ!!!
ケエッへへへ……
うっ……
ふっふふふ
へっへほんのあいさつよ
いいかっこしやがってそのていどか……

ぐわーっ
おっと!!
ちぃー!!
ケーッこのうすのろめっ!!
うう
なめるんじゃねえ!!
眼帯の銀次さまを……

ぎゃはは
やれやれ
兄き
かっこ
いい
へっへへへ
まかせとき
なって！
やろう
!!
こんな
うすのろ
!!
わっ
なめ
くさって
えーっ
どわああ
あ～～～～
このくそ
ガキっ
うわーっ
銀次!!
ちくしょう
兄き
がんばれーっ

そうか
一千人の子分が
一日で
百万か……
はあ……
夏休みを
利用すれば
一日でなくとも
三日あれば
……
ガキとはいえ
おそろしい
ですな……
万吉め
むかし
あばれとったのが
いまになって
役にたって
きだしたわけか……
なんのこざいくを
ろうしているのかね
おばば……
ン……
和
はっはは
はは……
こっ…
これはこれは
白川先生

いやあ
すまんすまん
案内も
こわんと
おじゃまし
もうした…
と……
とんでもございません
なにか　ご用でしたら
こちらから
うかがいますのに……

いやいや
ちょうどとおり
かかったもので
ちいっと
ばかっ話でもと
思いましてな
それは
それは
恐縮で
すな…

ところで
どうじゃね
……
最近　おも
しろい人間は
おるかね……

はあ……
まだ若僧
ですが
ひとり……

戸川万吉
……？
ごぞんじ
ですか…

いや……
知らん
なに者かね
そりゃあ
……

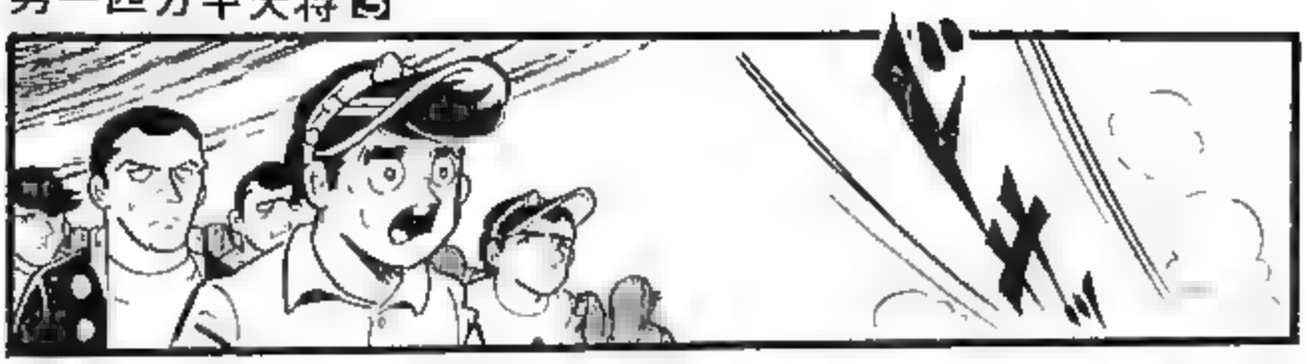
はあっはは……
日本財界の第一人者白川宇太郎先生が気にするほどの人間じゃありません
なにもわからんただの小僧です……
ふふ……
なにもわからん小僧…
わしらも若い時にはようわれたものじゃ
それでなおさらもえたものよ…
そういう人間が一番こわいなにをやりだすかわからんからねえ……
ましてやおばばのめがねにかなった男じゃ……
わしゃあすきだがねえ
そういう男が……
しかし
はやいうちにつみとるべきじゃないかねえめんどうな芽は……
ごもっとも……

会長
あの方が
話にきく
白川宇太郎先生
ですか……
うむ
別名　白川一言……
あのひとのひと言で
相場さえもうごくと
いわれている大人物
じゃ……
そのわりには
意外と　物ごしの
やわらかい方ですな
……
ばかをいうな
あれほど恐ろしい
人物は　日本に
ふたりとは
おらん！
わしでさえ
足もとに
およばんよ……
そっ……
そんなに

くえっ
へへへ…
!!ドガッ

う…
うっ
銀次
〜〜〜っ
ああ…あ
兄き〜っ
ぐっふふ
ふふふ
ケーッ
このていど
でまいって
たまるか
どうあっても
てめえを
ぶちのめして
百万の金を
作ってやる
ぜえっ!!
ヘェアーッ
まだくたばらんか
この眼帯
野郎めえっ!!

あほんだら！
ぎゃ!!
うおりゃーっ



チイッ

まだだぜ〜〜っ
おれは眼帯の銀次だ…

このガキ……
死ぬまでやる気か

てめえらとはな……
こっ…ここ根性がちがう

ぶっ殺してやる!!

……へっへっ……

ガ!!

お……おお
おれは眼帯の
銀次だ
まだ
ぬかす
かあー!!
死ぬ…
銀次が
死んで
まう…
兄き
〜〜っ
うわあ
あああ
ギャーッ
!!

ちっくしょう!!
ウワーッ
ケーッ
ガキどもがあーっ!!
ひっこんどれえい!!
わーっ!!
ぎゃー!!
ばかやろう
うわっ
ぎゃーっ
ちくしょう

うっわあああ!!
もうしんぼうたまらん
わいは!!
松川幸太郎は!!
万吉親分の子分じゃあ!!
あう……
き
きさまあ～～っ

うっわああ
わいらも
そうじゃ

おんどりゃ
うらぎる
気か!!

じゃかま
しい!!

万吉一家
やあ
ちいっ

わいらの
親分は
万吉親分
じゃ
おんどれの
ような
スカタンの
子分とちゃう
ちいっ
!!

うわーっ
いてこましたれ
このくそガキ
わいらは万吉一家やあ
大丈夫か……
兄き生きてまっか？
銀次…
こなくそおっ

やったな……みんな
銀次……
なにもいうな……わかってるよ……

万吉一家はいまだ健在だな!!
おおっ

やると
いったことは
ぜったいに
やるんだ…
それに……
あの人の
ふところ刀
仲台という人間がすごい
仲台
……？
うむ
…
あの白川先生の
うしろに 立って
おった
男じゃ
以前 天プラ屋に
いたのを 白川先生が
ひろったのだが……
あれはたしか
2年前だった
あの時は
さすがの
わしも
きもを
ひやされた
わい……

わっはは
はは…
たった
おい
きみ…
天プラ料理というやつはなんでもやれるそうだが…
そりゃあほんとうかね……
お客さまがおのぞみでしたら……
やれるか……
お客さまがおのぞみでしたら……
そうか……

それじゃあひとつ……
きみの指を一本天プラにあげてくれんかい……
どうかね……
たべていただけますか
おいおいきみ……まさか
白川先生もごじょうだんがおすきで……
ガガ…
くおう……

では……
きっ…
きみ
……
まっ
まさか…
ギュ
ガラ…

どうぞ……
うむ……
なかなか……
うまいぞ……
ゴリッ!!
モグモグ…

ありがとうございます……
はっはは……
いくらかね
この天プラは……
一千万円ほど……
うむ……わかった……
小切手でいいな
はっ
それが　白川先生とあの仲台のむすびつきになったんじゃよ……

軍資金はでけたの巻

そういうわけだ

むりにとはいわん……
おれたちの親分のため……ひとはだぬごうってやっつあ……

手をあげてもらいてえ……
なん度でもいうが……むりにとはいわん……

やぼなことはきくな兄き
せやせや

全員やるにきまっとるやないけ
もしくだくだというやつがおったら……
前にでてこい……
このわいが
わあっはははは……
調子にのるなアホめが……
おっやろう
なにさらすねんこらわいらの方が兄き分やど…
ぶちのめしたるど
ふふ……

それに
ちげえ
ねえな!!
おおっ!!

松川…
むう…

ようし
それじゃ
全員の
ぶんたんを
きめる

まず 漁師の
せがれは
こっちや
……
なにを
やるんや
……
船をだして
一本づりだ
さかなを
とれっ！
わいらは
なにを
するんや
おう……
そいつぁいい
腕の
みせどころ
やで……
ちぇっ
いいかっこ
するな……
はよう
きめたってえ
なあ～～～っ
ええ～～～い
ちゃんときめたる
から しずかに
さらせえっ

それから
こっちゃは
ビルのぶっこ
わし屋20人
……
おう……
まかし
とき

それに
こっちは 港で
荷物の
つみこみや！

それから
こっちは……
建設現場
それに
あっちは
……

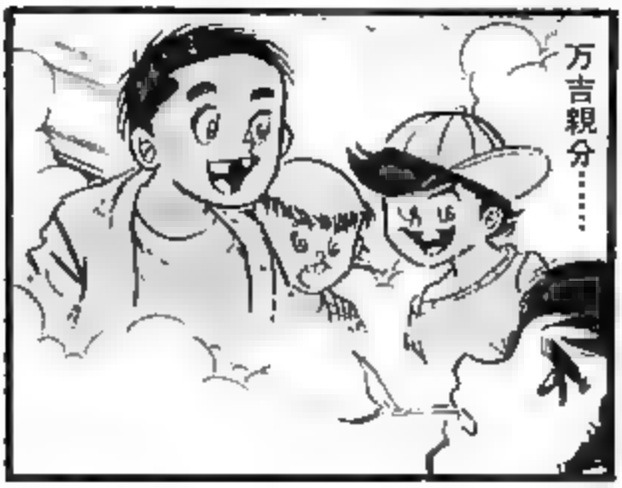
やいこら
松川
わいらは
なにやるんじゃ
おのれらばかり
なんや……

あ～～～
おまえらは
……
数のうちに
はいっとらん
そのへんでねとれ

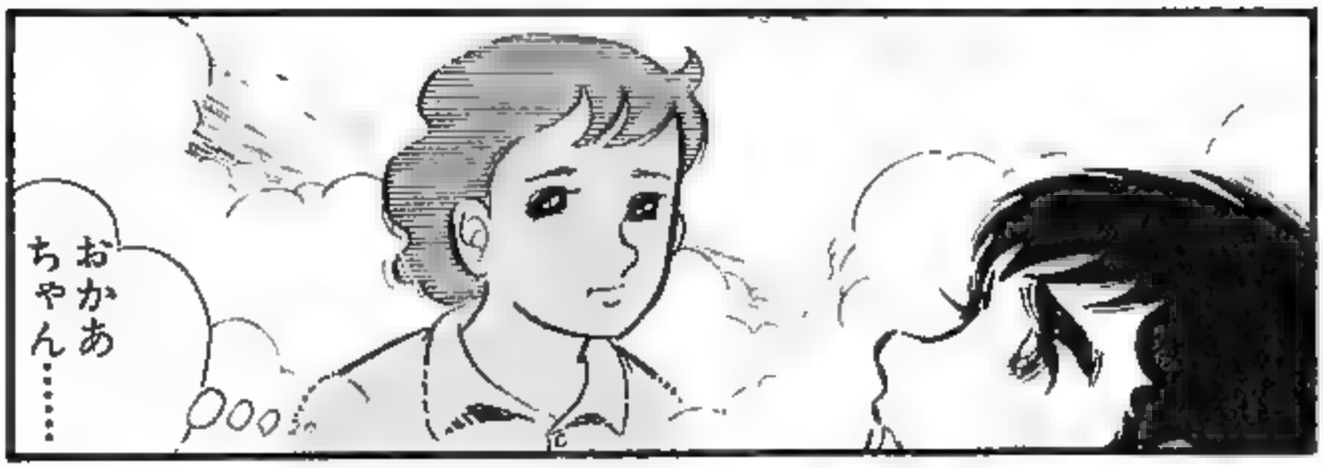
にや
にやに～～っ
ねとれやとおっ
え～～～
それから
こっちの連中は
……
ごまかすな
おんどれ～～っ
いてもたろか…

ふっふふ
……

一日八百五十円か……
年をごまかして働いて……
!?


万吉親分……

おやぶん……


おかあちゃん……

万吉親分……
ん！

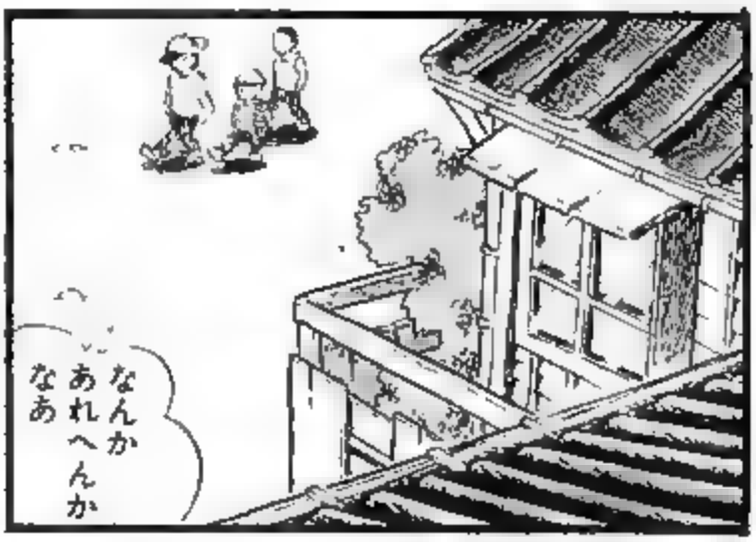
あんたはしあわせ者だぜ……

これから すぐ西海へいこう……
いまごろみんなが金を作っとるはずだ
な…

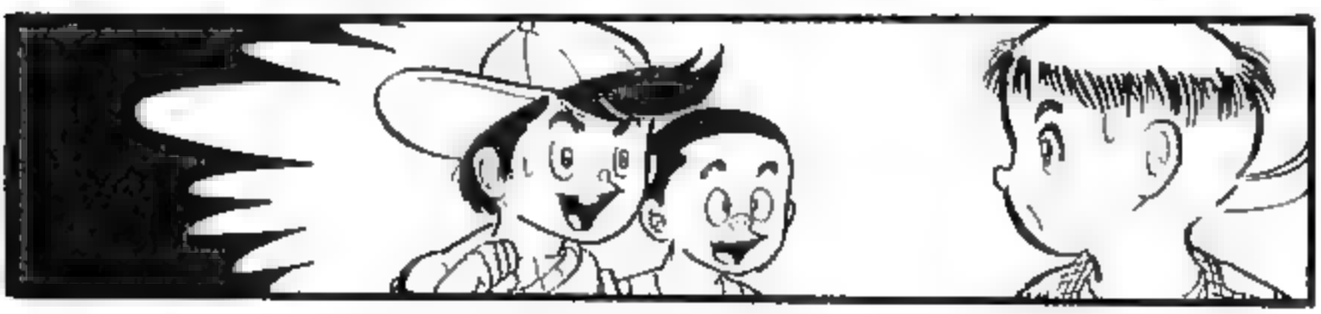
なにいっ

行くぜーっ
おおーっ
そりゃあーっ!!
ゴゴゴ

わいらにでける金もうけ
あいつらになんぞまけとられへんで


なんかあれへんかなあ

え〜廃品〜〜〜
ガラ・ガラ・
ビンカン不用品はございませんか〜
う…



え〜〜〜っ廃品回収〜〜〜っ
こいつやあー
おお!!

えへへへ……
ガ〃
なんやて
たった
80円！
こんなに
いっぱい
あるんやど
いや
なら
やめな……
われっ
ごまかし
てんのと
ちゃうか
ガ〃
わっ
なんとまあ
ガラの悪い
ガキどもやな
わいらが
半日も
かかって
あつめた
もんが
……
80円
ちゅう
ことが
あるかい!!

アホ
きょうび……
こんなアキカン
やら アキビン
などはな
あまり
ねうちが
あらへんね
やで……
それに
……
ドン

こういうこと
したら
アカン
こういう
こと
したら……

あっ
……
えへへ……
知ってたんか
おっちゃん……

あったり
まえや
アホ……
廃品
回収の
プロやで……
ガヤガヤ
ガヤ

こんなこと
みぬけんで
やってられ
るか…
アキカンの中へ
石をつめて
重くみせかけ
ようなんざ……

それも ひとつ
ふたつなら
まだしも……

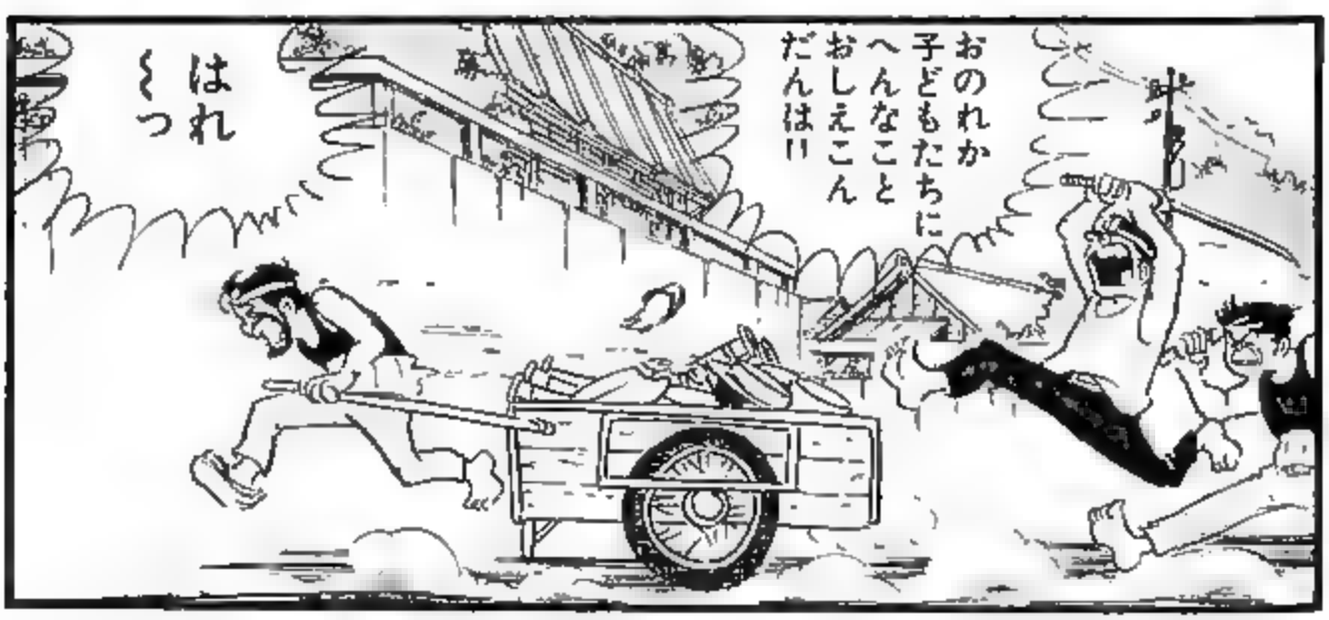
ぜんぶにいれよって……
ケへへへ……
ほんまにかわいげのないガキどもやな
そんなカドのたついいかたせえへんでもええやないけ……
ほんのざれごとや
アホリ
百円やるからはよういききらせ……
百円ちゅうことないでおっちゃん…もうちょいとイロつけたってえなあ
それやったらアカとかしんちゅうを持ってこい……
アカ……？
しんちゅう…アカなんやそれ……
この家のトイなんかアカや……

それに水道のじゃ口なんかしんちゅうや……
そういうもんやったらこうたる
ほんまやなおっちゃん！
すぐもってくるよって待っててや!!
ああ待っとる……
ガリガリ

ン……
なにごとじゃい……
わわこりゃあーっ
ケへへへ……
ガガガラガラ
ボロロ
ガラガラ
ぎゃはは

おっちゃん
これやったら
いくらになる
買う買う
いくらでも
こうたる
ぎゃははは
おまえら
ええ子やなあ
ふぎゃ
あーっ
なんと

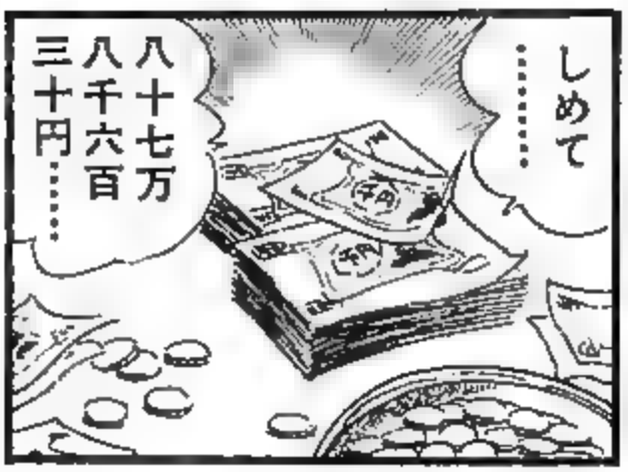
こりゃ
あ～～っ
へ……


おのれか
子どもたちに
へんなこと
おしえこん
だんは!!
はれ
～っ

武井の三吉
千二百円!!
ようし
!!
わいは
八百円

わいも
おなじく
八百円や
おっ
ありがとう
よ……

これで
ぜんぶだ
……
いくらに
なる


しめて
……
八十七万
八千六百
三十円……

ひゃあ八十七万…
ほんまかいなほんまにわいらがかせいだんか
六百三十円ちゅうのはわいらやで……
せやど……わいらかてかせいだんやど～～～っ
聞いてのとおりや……
百万に少したりねえが……
みんなよくやってくれたっ！
万吉親分もきっと喜こんでくれるぜっ…
おおーっ
へっ……よけいなまねさらしおって～～～っ
ん？

おっ…
おやぶん
わっ
ひや
うわーっ
親分じゃ
万吉親分や
わいらの
大親分
やあっ

うわーっ
はっはは…
万吉親分
万吉親分…
しばらくみねえまに…
一段とりっぱにならはった……
さあ受けとってくれ万吉親分
わいらのプレゼントでっせ
えへへへ

ふふ……
受けとるか受けとらんか～～～っ
はたしてどうでるかな万吉……
よけいなことしやがって～～～っ
親分！

おまえら
みんな
……

アホと
ちゃうか
わい
なんぞの
ために……

ちく
しょう
～～っ
よけいな
こと
しやがっ
て～～っ

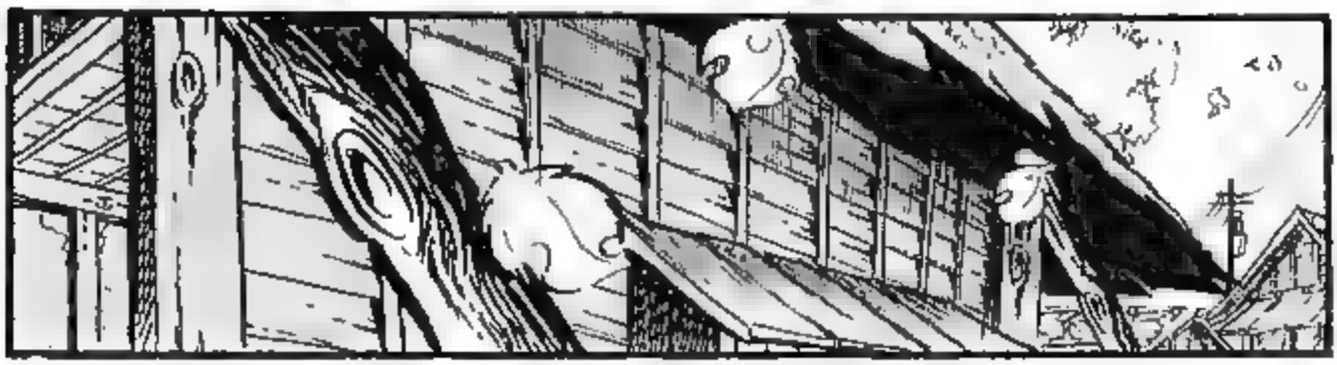
ありがたく
……
ちょうだい
する!!

よく
受けとった
万吉
これで
あんたは
かわる!!

みとれいっ
この金　戸川万吉が
命をはってなん
千倍にもしたる

おまえら
みんなの
代表として
な!!
この金を
ひっさげて
大人の世界を
あらしまわった
るで!!

なんやら
わからんけど
やっとくん
なはれ
そのためなら
わいらは
どんなことでも
やりまっせ!!

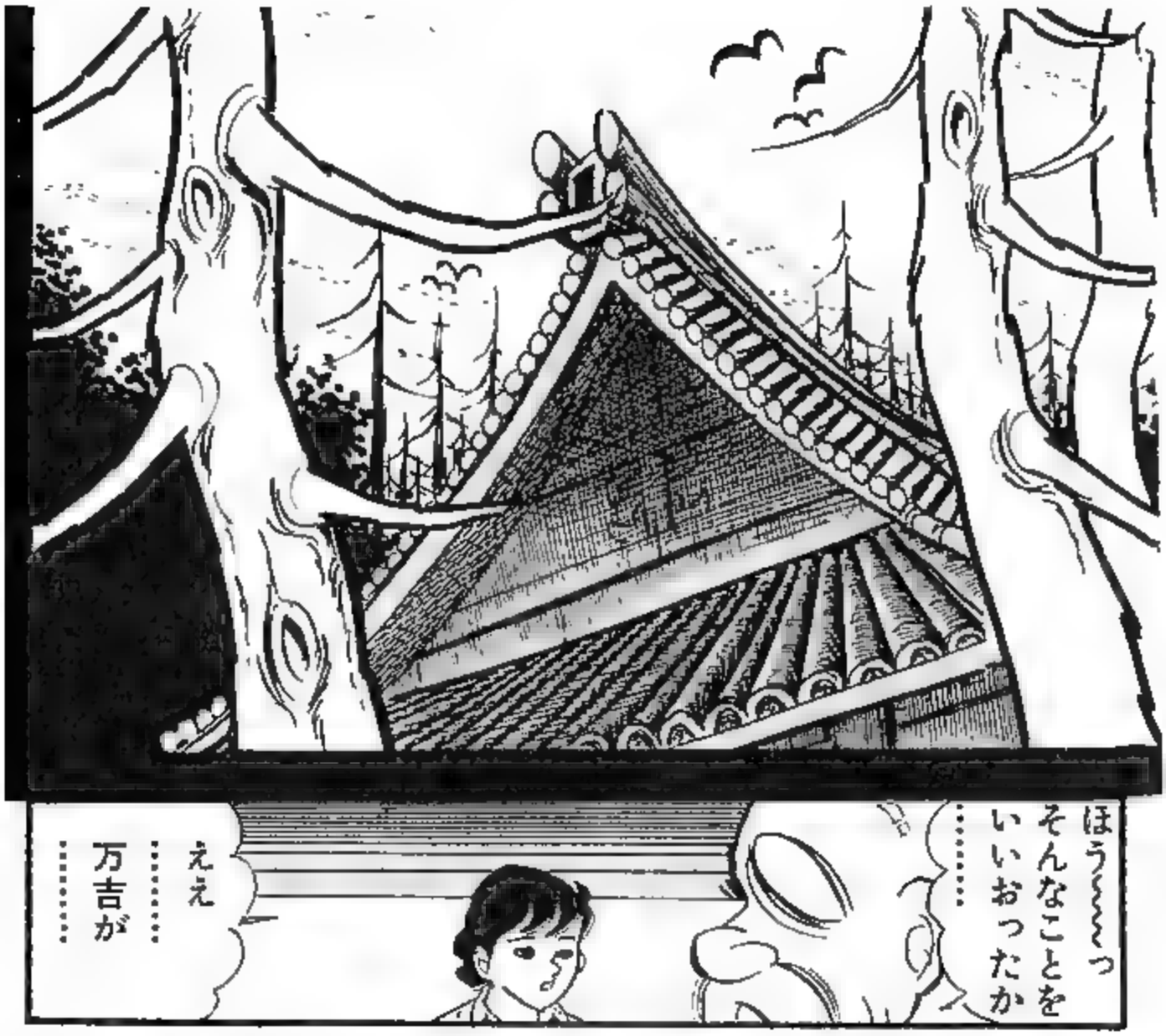


あほんだら……
わっ
おっおかあちゃん…
おかあちゃんや あらへん!!
おまえのやってることがどういうことかわかっとるのんか……
ほんまにほんまにこの子はもう……
ひとさまをはたらかしてそのお金をとるなんて
おかあちゃんはおまえをそんな子に育てたおぼえはない
おかあちゃん 死んだおとうちゃんになんてわびたらいいねん……

お金がほしいならほしいと
なぜおかあちゃんにひとことわなかったんや…
五十万円ある
うわっなんやこれ
おまえが大学へ行く時にと思って……
行商をして一生懸命ためたお金や…
あはははは……
わあはははははーっ

万吉!!
はっはは……だってよお……
わいが大学やなんて……
高校どころか…
いまでさえろくすっぽ学校へ行ってへん…
だから義務教育の中学さえだしてもらえるんかどうか……それを大学やなんて……
なあおかあちゃん
わいは…高校も大学もいかん勉強きらいやからな……
大学なんぞ関係あらへんわいは一番燃えることで生きていく!!

わいは……
自分をだいじにするんや！
行商しながら…
五十万円もためたんか……
おかあちゃん


ほう〜〜っ
そんなことを
いいおったか……
ええ……
万吉が……

はっはは
は……
しばらく
みんまに
えらく
大人になり
おったのう
……

あの子が
けんかして
ぼろぼろに
なって
帰ってき
たのが……

それを
おこりながら
つぎをして
いたのが……
わたしが

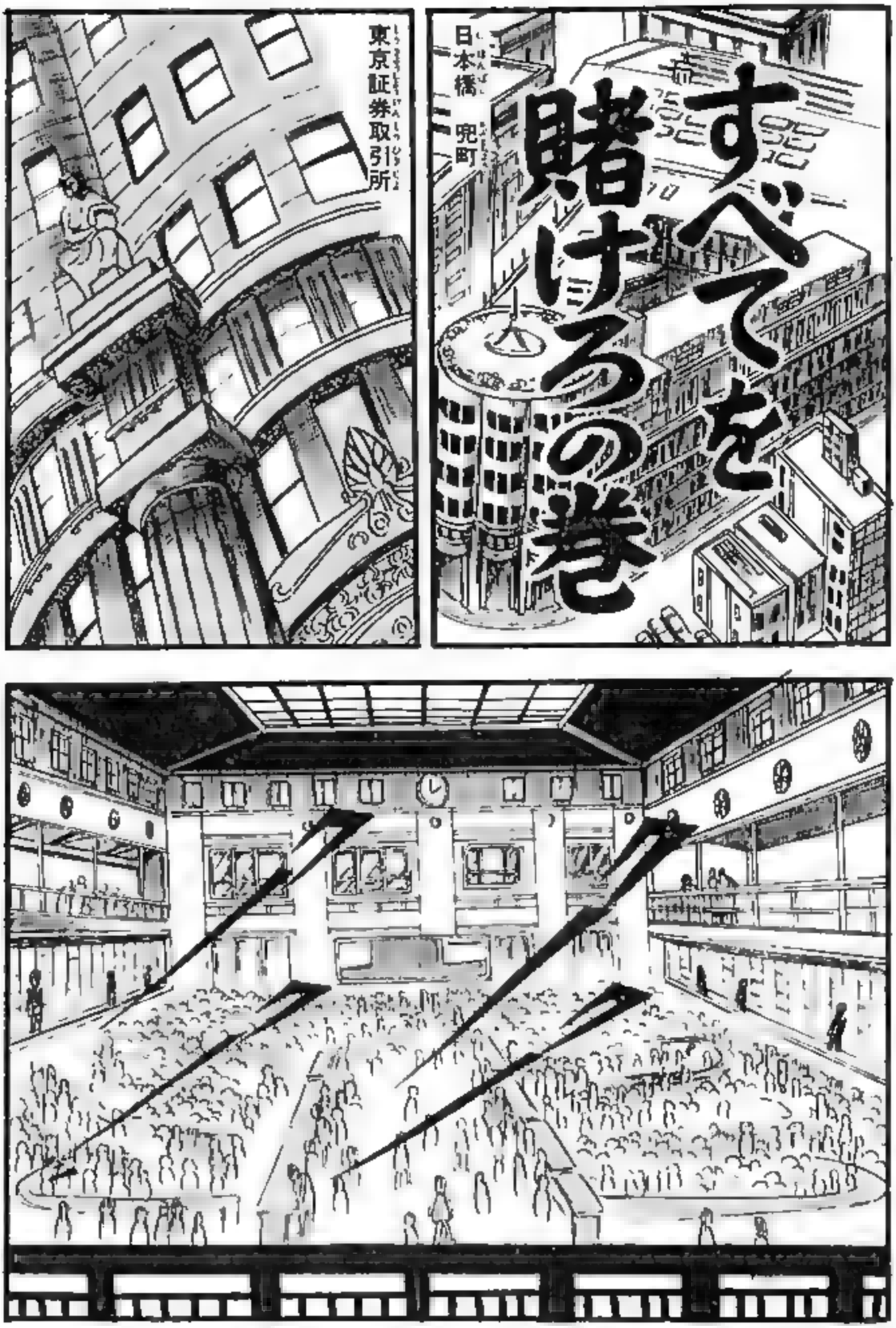
子どもが 親からはなれるそれは ごく自然のことじゃよ……
万吉は ただそれが ほかの子どもよりはやかった

ついこの間のことでしたのに……
ううう～～っ

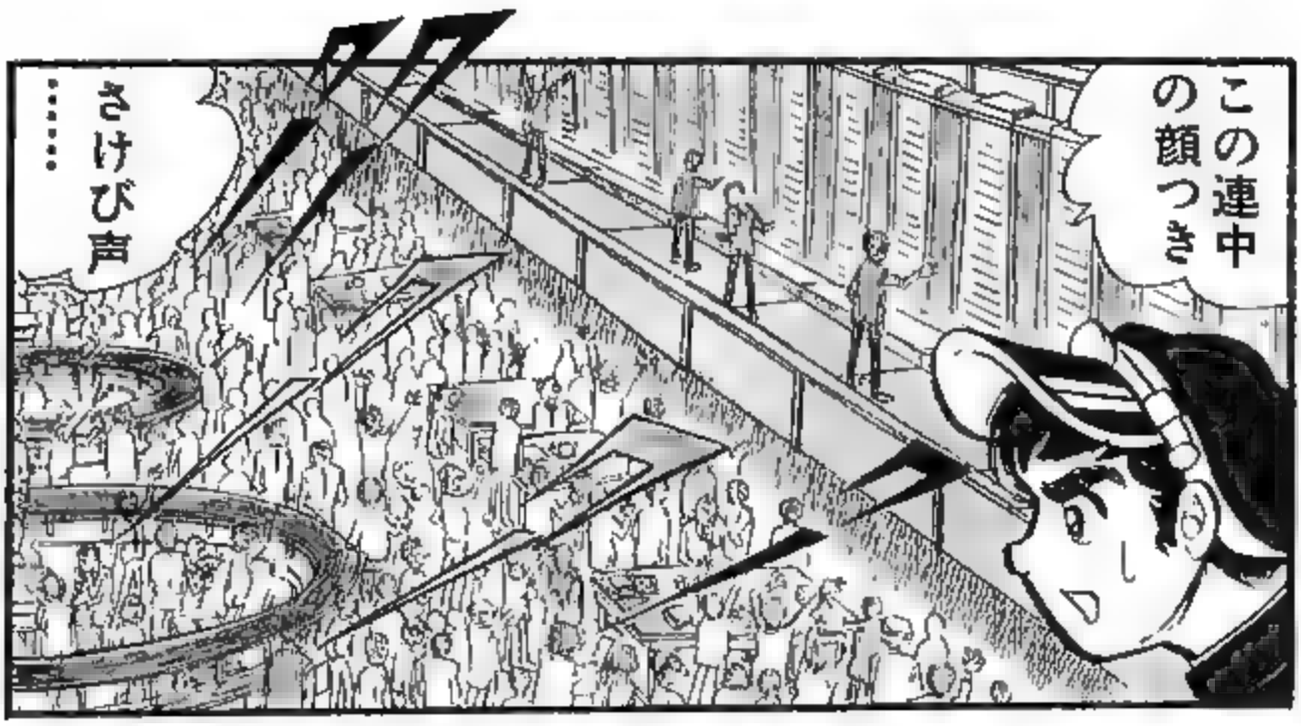
わかってはいるんです……
でも
やはりつらいかね……

これからひとりの人間としていくのじゃ
とにかく万吉は自分の道をあるきだした……
ひとりの人間としてな……

光五郎さんとやら…
これから万吉をたのみますぞ……
はっ……


すべてを賭ける巻
日本橋兜町
東京証券取引所

どうだね
万吉親分
……
すさまじい
だろう……


この連中の顔つき
さけび声……

これが真剣勝負の世界か……
これが大人の世界のけんかか…
わいの体はブルブルふるえとる
からだ中の血が 火をふいたみたいじゃ……
こわくなったか……親分…エ…
へっへなめるなよ光五郎…
おっとごめんよ!!
アホンダラ気イつけんかい!!

なっ…
なにい～っ
小僧～っ
けっ…
うぎゃっ
!!
へっ
へ～っ
親分
あんたは
こう
いうことに
手を
だしたらいけねえ
おれの領分だぜ
へっ…
でしゃばり
くさって!
こっ…
このやろう
～っ
なめた
まねしや
がって
おれさまを
だれだと思っ
とるんでえ!!

あいかわらずやっとるな便利屋……
ン……
かか〜〜っ
珈琲
ぎゃはは
はは
うれしいねえっ
あっしゃあ
むしょうに
うれしいぜ!!
七年前に
こつぜんと 消え
ちまった 光五郎
だんながよう
こうしてまた
兜町に 姿を
見せてくれる
なんて…
おりゃあ
なみだが
でてくるほど
うれしいぜ…
なんせ あんたは
やることが
でかくて
奇抜で…
スカーッと
してやがった

ねえねえ こうして 姿 見せてくれた以上……
またやるんでげしょう…
相場を……
はっはは… あいかわらず よくしゃべるな 三吉…
へっ いや どうも えへへ…
おまえさんの 方は どうなんだい 調子は…
だめだ スッテンテンできあ…
むかしとは ちがうぜ… だんな
だからよう 光五郎 だんな…
あんたに また あばれてもらいてえんだよ…
とくに 外国が 手をだしやがってからは もう こちとら カンが狂っちまって… さっぱりできあ…
ふっふ……
わしゃあ もうやらん……

今は この万吉親分の軍師だ…
ええっ!!
ガタッ!!
そっそれじゃ……
こっこの人が戸川万吉…さんですかい…
大将…
あんた うちの親分 知ってるのかい…
しってるもしらねえも
あんた〜っ

ぎゃはははは
あっしはよう
一目でもいい 万吉親分にあいてえと思ってたんだぜ…
へっへっへ……
水戸のばあさんを相手に サシで勝負しようって……
十五 六の小僧がいるって話を聞いたとき…
おりゃあげらげら笑ったもんだぜ
ばかげてると思ってなあ……

しかしようそれが ほんとだとしたらどんなにうれしいと思ったことか…
そんなにいせいのいい人間がほんとに いたとしたらよう…
たとえはったりでもな……
しかしこいつぁーはったりじゃねえ…
ちっともばかげた話じゃねえ…
光五郎だんなが軍師をやろうってぐれえの人だ……
それにおれっちも便利屋三吉
いちおうは株屋の世界じゃしられた男だ……
人をみるくれえの目はある

おねげえだ……
おれっちも ひとつ あんたらの 仲間にいれて くれ!!
日本経済界の生字引
便利屋三吉 決して そんな買いものじゃねえぜ……
調子いい野郎だぜまあ
よおっ そっちの眼帯の兄きもたのんでくれよ……
あっ… 兄き…
へっへへ
よっしゃ 江戸っ子のよしみでたのんでやらあ…
ふっふふ……
はっははは……

第一中学校
ねえねえ
あなた 宿題
ぜんぶやった?
だめよ
みせない
わよ…
うわーっ
おまえ
やけたなあ
……
へっへへ……
なんせ15日も
海に行ってた
もんな……
なによ
ケチっ!!
へっへへ
ひさしぶり
やのう
学校へ
きたのは…
へえっ

しかし
どういう風の
ふきまわし
ですかい
急に学校へ
行くなんて
いいだして…
アホ…わいら
学生や
学校へ行くのは
あったりまえやんけ…

だって……
親分 勉強
きらいじゃ

わっ…

な
なかっ…
…た……

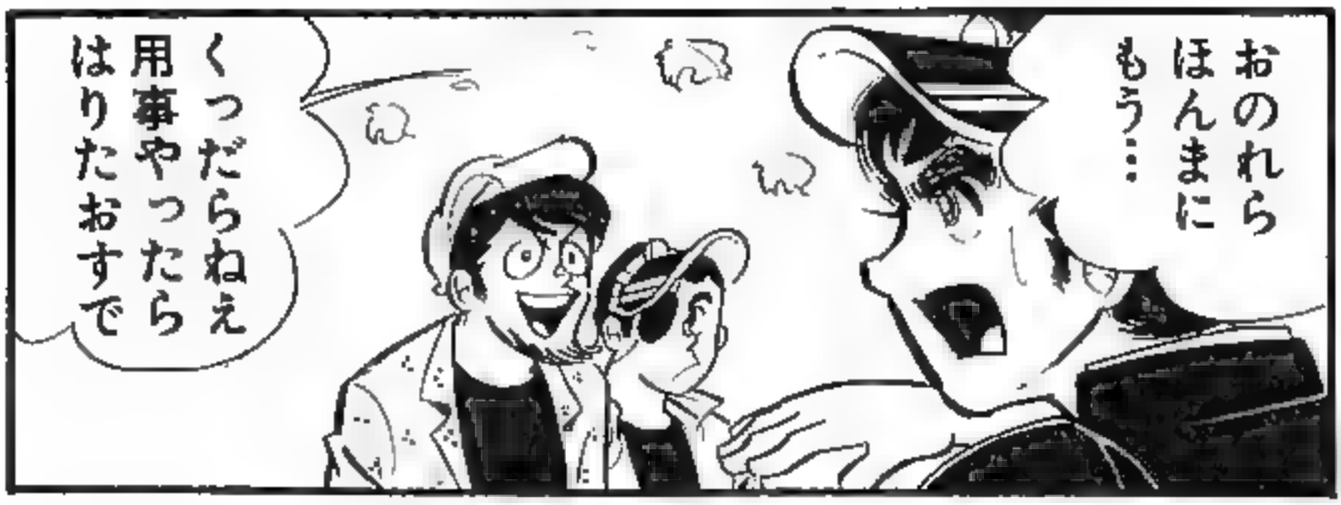
えへへ…
ひさしぶり
やなあ
友子ちゃん

きゃひひひ
わっ
そうかそういうことか
ちぇっちぇっかってにしてくれもう
なんでえ……
でもさあわたしもガールフレンドほしいなあ
銀次さあ〜〜〜んすきよ〜ん
なあ〜〜んていわれたらどうしよおれっち
わっ
へえっへへへ

なっ…なにをしやがる!!
いやあね……
この前からどうも ねざめが悪くてねえ
へんだと思ったら忘れてたよ
あんたにかりをかえすのを…
なにい〜〜っ
かり?
ほらこの前取引所でぶっとばされた…
へっへ……かりよ……
てめえ〜〜〜っ
おっ おっやるかい……
やめたやめた親分のじゃましちゃわりいよ
そうだおれっちも親分探しにきたんだ…
どこにいる万吉親分は……
デートだよ……
にゃ……にゃに〜〜〜っ

万吉さん
背が高く
なった
みたい……
そりゃそう
や　成長期や
もんな……
ふふ
えへ
……
よっ…ようおれっちにもみせろよ……
わがわがわが
しっ
静に
しろ
よ！
いまどこにいるの……
みんなで家をかりてすんでるよ
友子ちゃんちのパパはなにしてるんや……今
倉庫会社の
守衛さん
やってるの
……
へえ……

いまにみとってくれ 岡野建設を かならずとりもどしたる
いいのよそんなこと…
大人の世界へのなぐりこみの用意は すべてととのってるんじゃ…
水戸のばばあめ今に アワをふかしたる
あとは なあ…わいにとっても命よりだいじな金をかけてもおしくない会社をさがすだけや…
一発勝負でけるおもろい会社の株をな……
親分ちゃーん
きゃーっ!!
わわっ
アホンダラいきなりびっくりするやないけ
へへへ……すんませんな……
だからやめろっていったんだよおりゃあ


おのれらほんまにもう…
くっだらねえ用事やったらはりたおすで

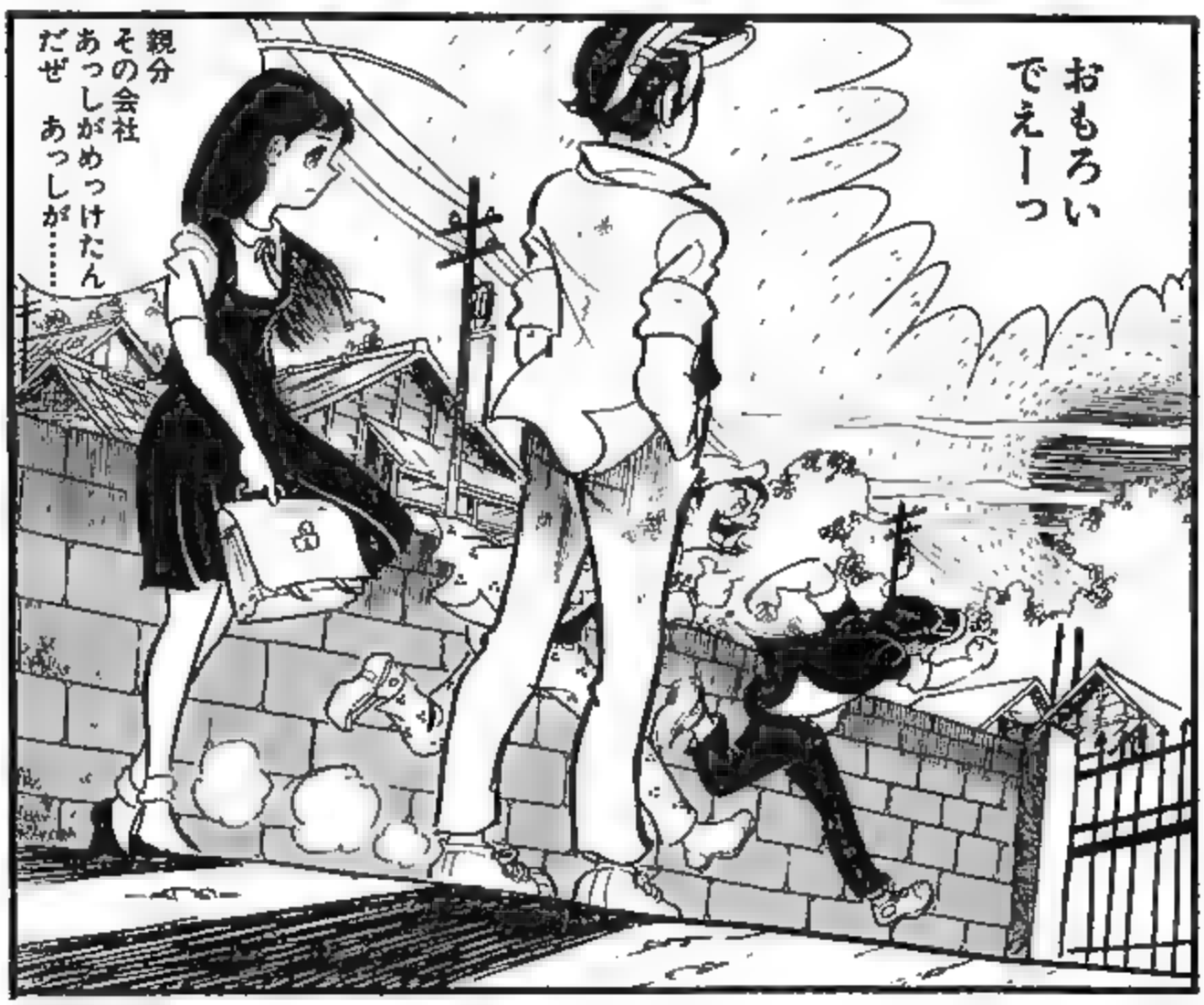
へっへ……便利屋三吉そんなやぼな用事は持ってこねえ

見つかったんですよ……
なにいっ!!

一発勝負のできる……
おもしれ～～っ会社の株が……
話せ……
昭和ハウス……
住宅専門に作ってる建設会社ですがね
これがまたどうしようもねえ ボロ会社なんですよ……

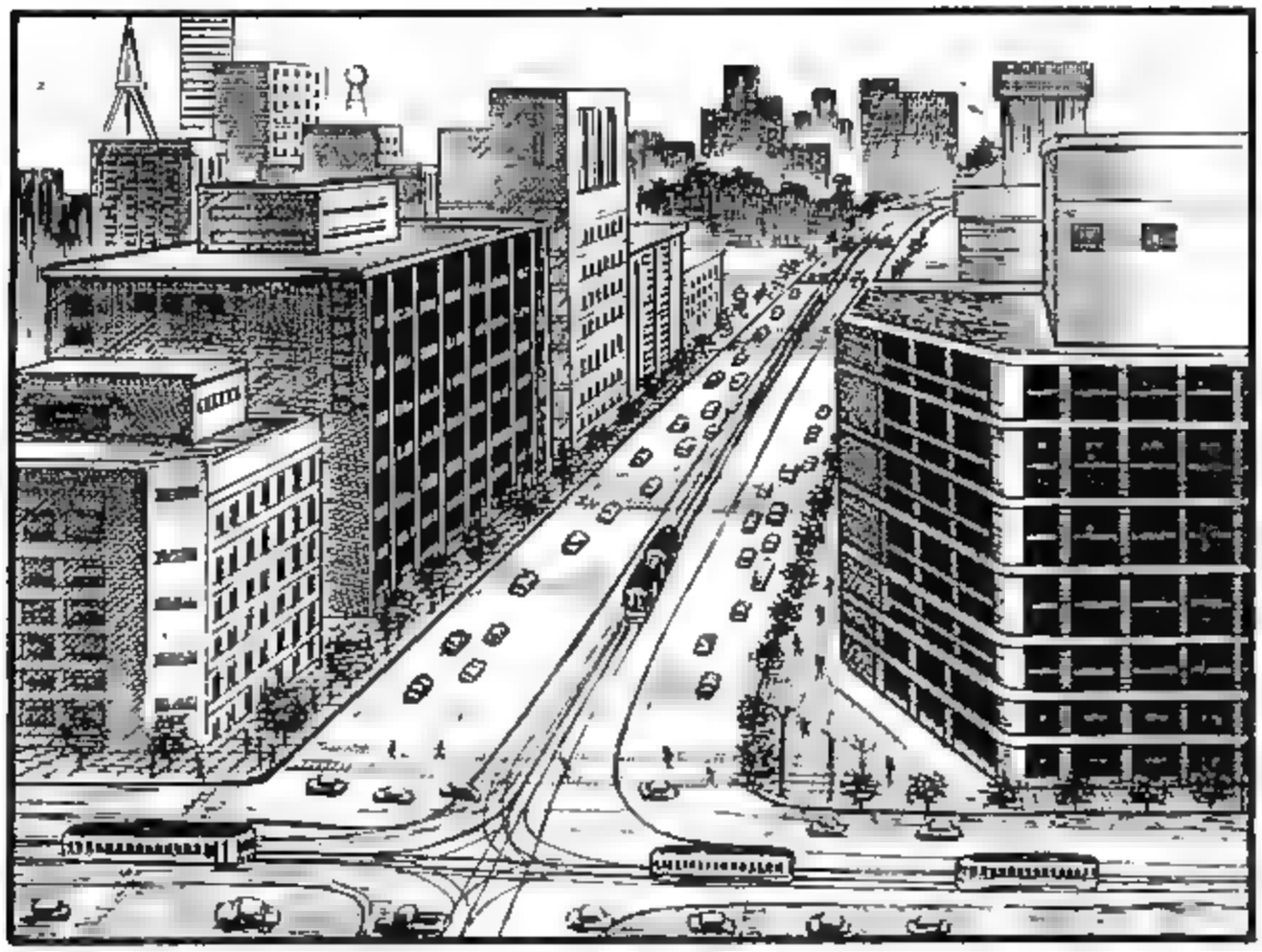
株価は 今 23円…いまにもぶっつぶれそうなへみてえなボロ会社でさあ……
アホ……それがなんでおもろいんや
生きがいいんすよ…
生きがいい…？
へえ 活気です……
なんかこう会社ひとつが団結してすげえ熱気があるんでさあ
なにかある光五郎だんなもそう見てますぜ……
ボロ会社に熱気……だと～～っ
あっしがめっけた会社ですぜ

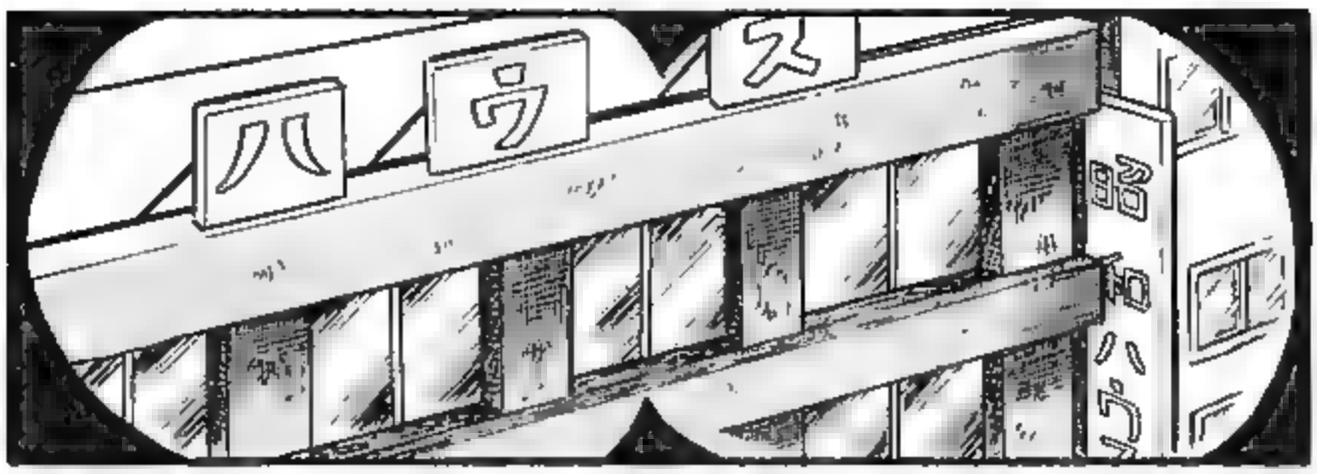
銀次
友子ちゃんを
家まで
おくってけ
へっ…
へい……

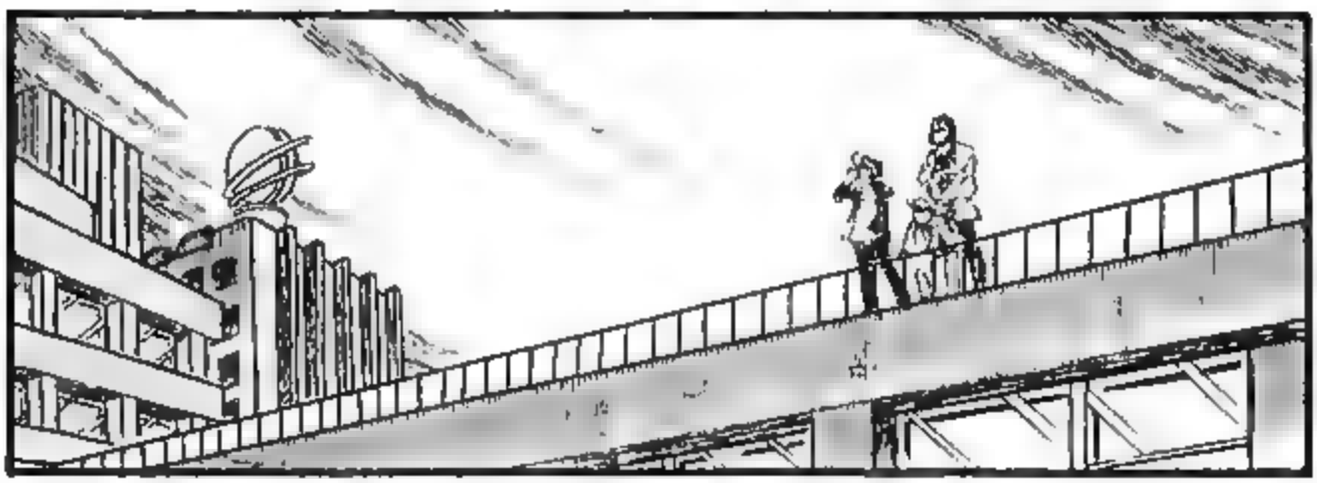

おもろい
でえーっ
親分
その会社
あっしがめっけたん
だぜ　あっしが……

帰ろうか…
ええ……

あのな友ちゃん えへへ…
じつはワタチたのみがあるんだけど
あらなあに……
じつは…そのあのなあきひひ…
おれっちにも友子ちゃんの友だち紹介してちょうよ……
あら銀次さんガールフレンドほしいの
まっ…まあはっきりいえばそっ…そうなんだ～～っ
いいわよ
いっぱいいるけどどんな感じの子がすきなの……
うひゃーほんとー
ボインボイン
ドカーンそんな感じ
エッチーッ!!
ごめんなさい…




ハウス

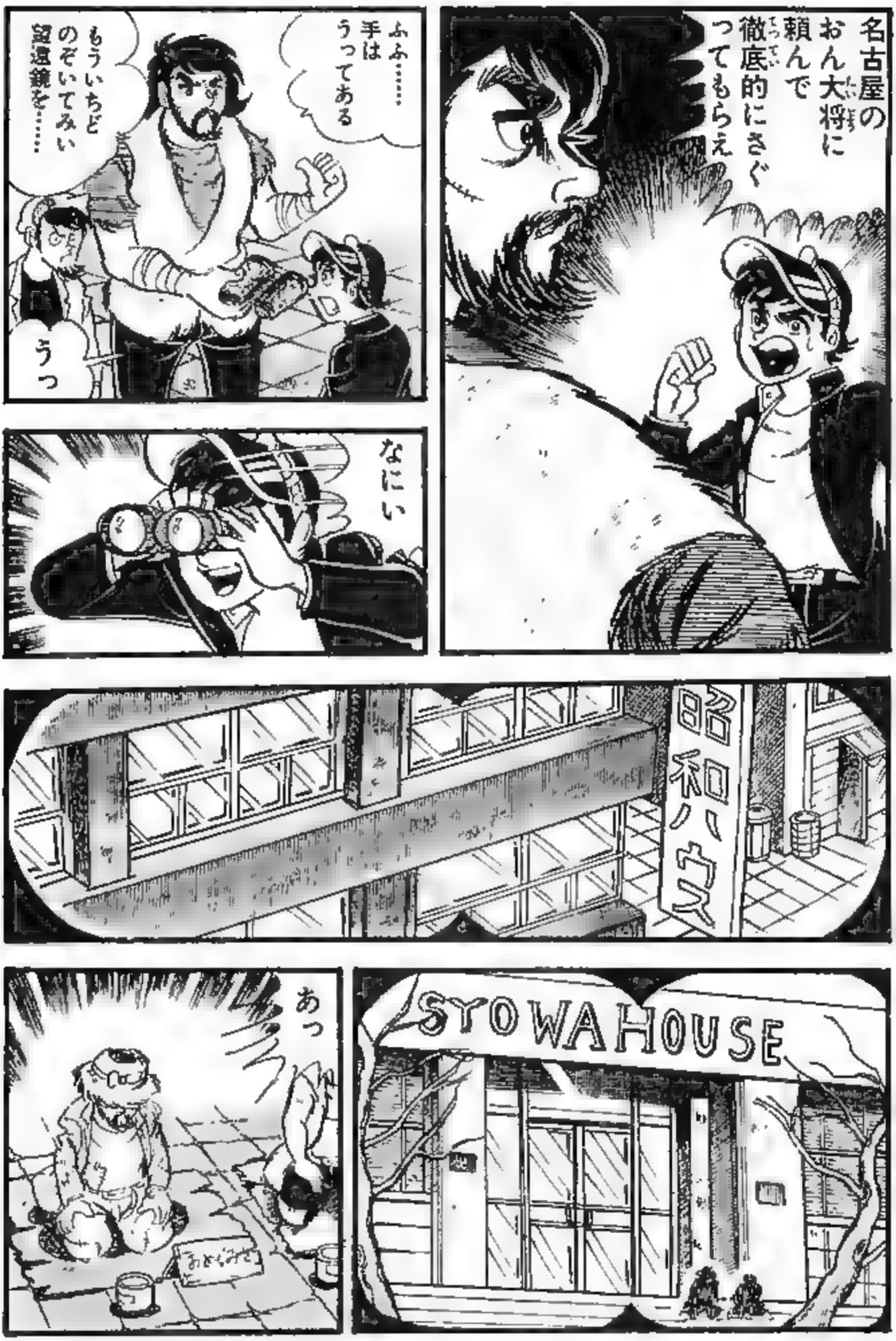


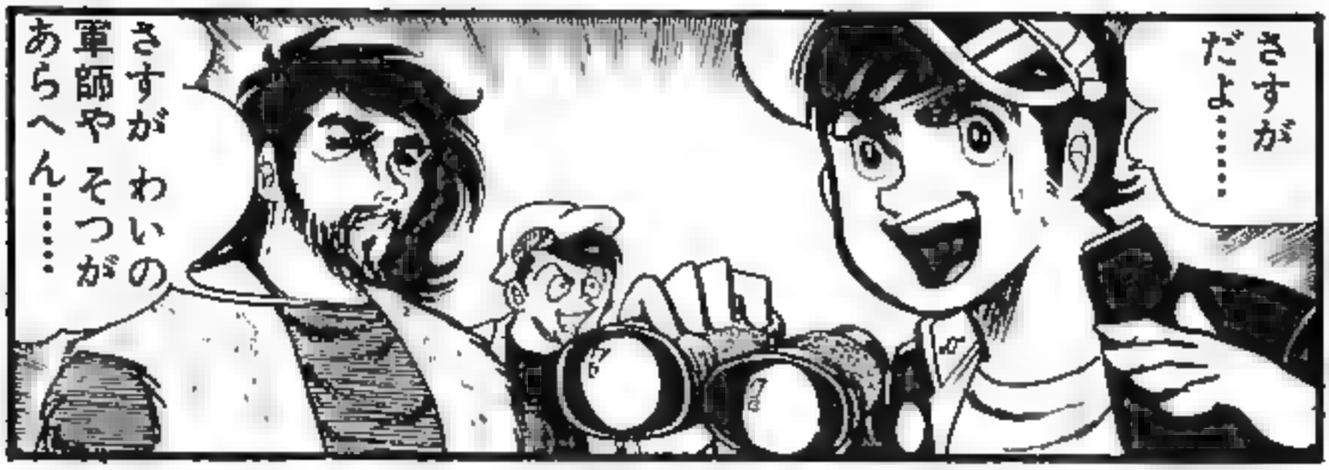
ふふ…
たしかに一株23円のことはある……
建物もボロな会社やで……

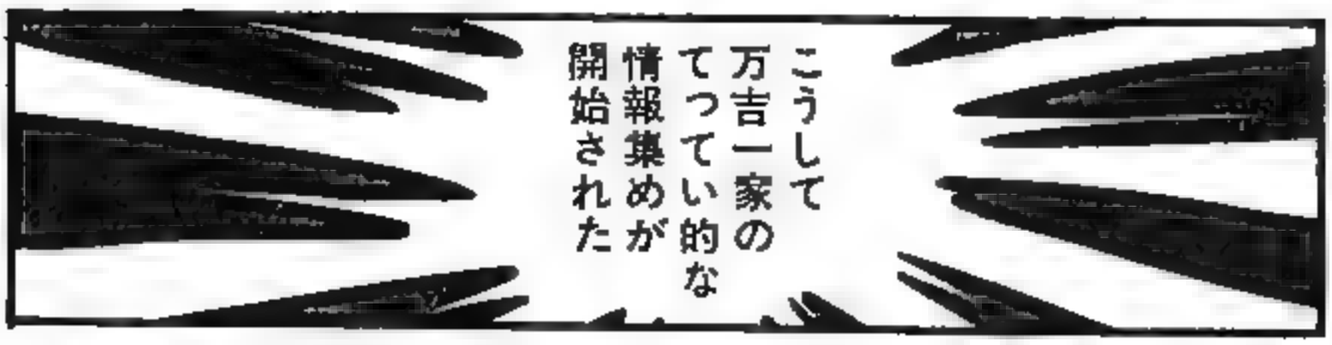
熱気のあるボロ会社……
全財産たたっこんで一発買ってみるか親分……
いや待てよ～～～っ

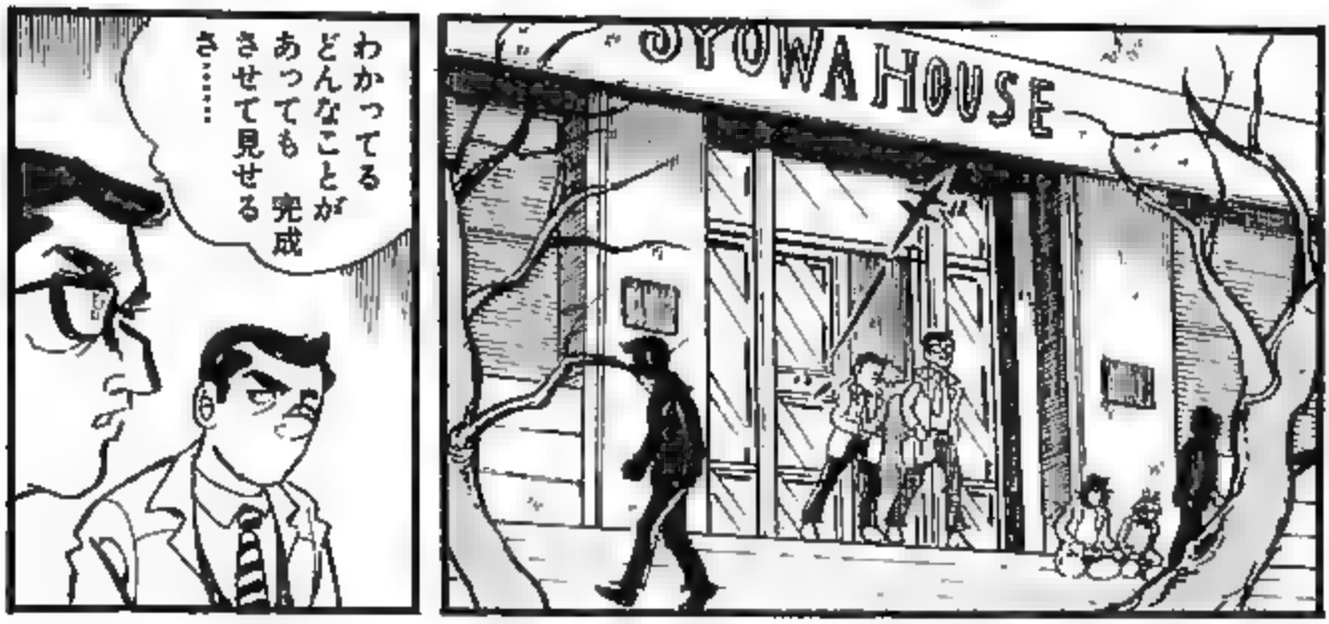
みんなからかりた87万おかあちゃんにもろた50万……
しめて百三十七万……

おもろい勝負やが…
めったなことでは 使えん
光五郎さん
ボロ会社の熱気の理由……


名古屋のおん大将に頼んで徹底的にさぐってもらえ
ふふ……手はうってある
もういちどのぞいてみい望遠鏡を……
うっ
なにい
昭和ハウス
あっ
SYOWAHOUSE


さすがだよ……
さすがわいの軍師やそつがあらへん……


こうして
万吉一家の
てってい的な
情報集めが
開始された


わかってる
どんなことが
あっても 完成
させて見せる
さ……
YOWA HOUSE

社長は
あれに 命を
かけて
おられる
うむ それこそ
会社と心中する
覚悟で とりくんで
いらっしゃるんだ

なんとしても
われわれは
それに
こたえねば
ならん……
しっ
声が
たかい
ぞ
HARI

はやく
しろ
へっへっへ

ガサ…
ガサ…
ン……

こら
～～っ!!
こいつら
ゴミを
ちらかし
やがって
そんな中には
食い物なんぞ
はいって
ねえぞ!!
へいへい
すんません
きれいにかたづけ
ときますから
……

まったく
しゃあ
ねえな…

三文長屋
おそい～～っ
一週間もたつのになんの連絡もあれへんやないけ
しかたあるまい!!

ボロ会社とはいえ ひとつの会社の極秘情報じゃ
めったなことでは……もらすまい…

三吉 昭和ハウスの社長は どんな人間じゃい
へい…
経営者としては 落第でさあ
人がよすぎるっていうか自分の道楽で会社持ってるようなもんで……へえ

しかし ほんとになにか あるんですかねえ……
会社がぶっつぶれる前の悪あがきだけじゃないっすか……
かも知れん
しかし ほんまになにかがあるかも知れん
ガーン
きたか!!
ん!!
あんたかい 万吉てえのは…

新建材
完成の巻

ほらよ
さっさと
はいり
やがれっ
わっ
ぎゃっ!!
ン
あっ
ふっふふ

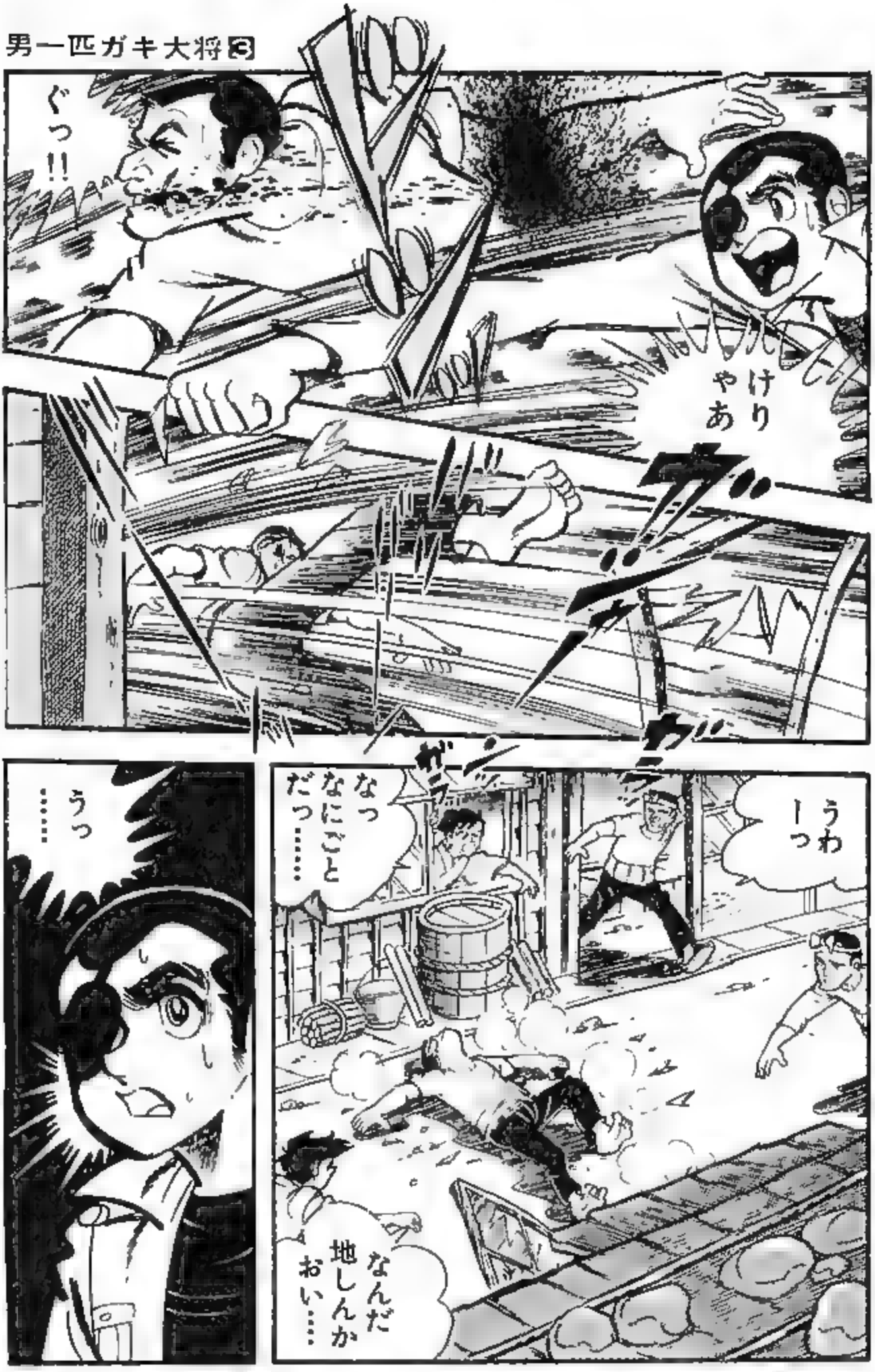
どういうことじゃいこれは……
なあにべつにどうってこたあねえのよ…
あんたらのあつめた情報をゆずってもらいてえ……ただそれだけよ
なにっ
へっにおい野郎だぜ……
じつはなおれたちはよ昭和ハウスの競争会社から情報をあつめてくれとたのまれたのよ……
ところがどうにもちっともあつまらねえ……

がっちり秘密をまもっていやがる……
とことん手をやいていたところよ
ところがどうだい……
おれたちとおなじことをしている連中がいたじゃねえか…
しかもかなりくわしい情報を手にいれたらしいんだな…
だから……このうすぎたねえ奴らをちいっと…
いためつけてな！
わっ！

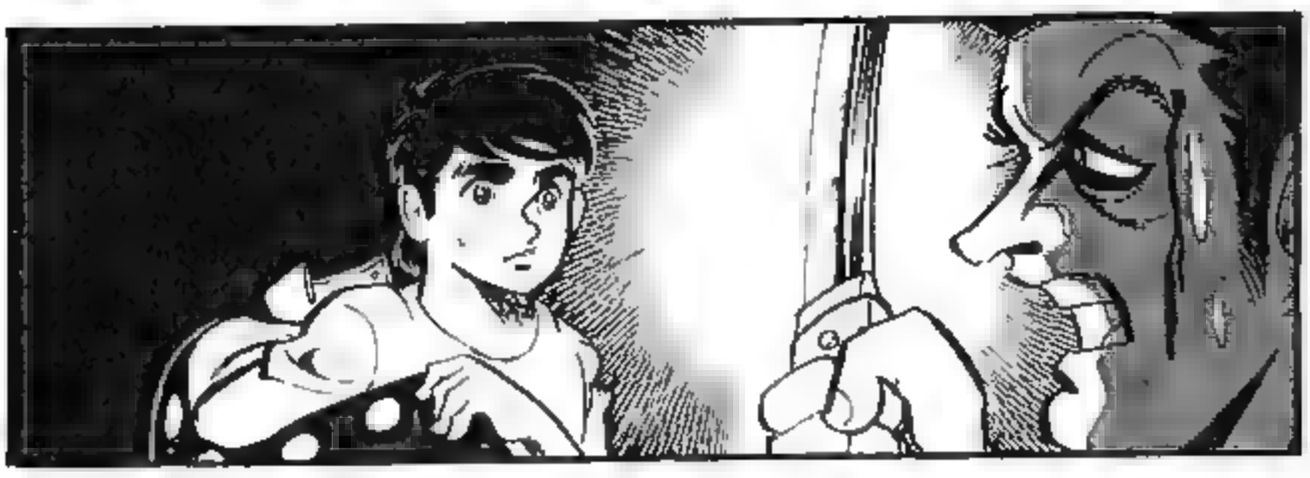
あつめた
情報を
そのまま
こっちに…
いただこう
と思ったん
だがよ…
こいつ
ら と
きたひにゃ
ひとことも
はきゃ
しねえ
はう!
やろう
万吉とか
ぬかす小僧に
忠節をつくす
とかでな……
ケッ
しゃらくせえ
……
だから こうして
あんたのところまで
しょっぴいて
きたんだよ…
さあ……
はいて
もらおうか…
情報を
あつめて!
なにを
するんや
株でも買う
気か……
あんたらは…

へっ
ばかやろう
きまってる
じゃねえか
その秘密を
ぬすむか
あるいは
妨害
するのよ
まあ
せっせと
あつめたん
だ……
三千円ぐらいは
だそうじゃ
ねえか……
銀次～～
この
くだらねえ
……
カス野郎
めらを……
つまみ
だし
たれっ
おおっ!!
おっ…
なんでえ
なんでえ
やる気か

じゃかましい!!
ぎゃ!!
なめさらすな!!
やろう!!
しゃらくせえっ
うわっ


けりやあ
ぐっ!!
うわーっ
なっなにごとだっ……
ガラ
なんだ地しんかおい……
うっ……

小僧
〜〜〜っ

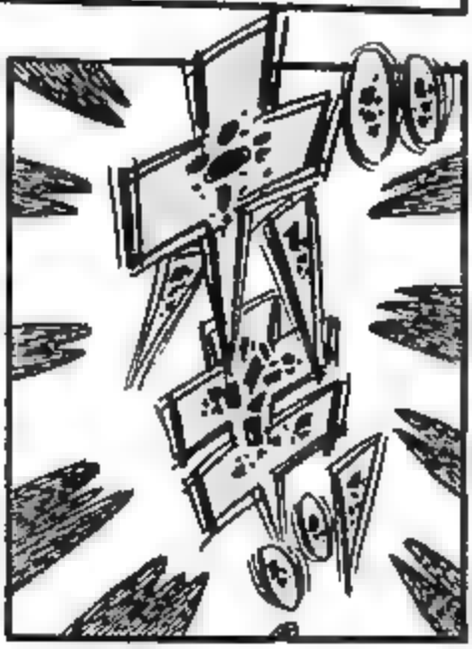


なめやがって
え……

まっまずい
……

ヤッパを持った相手にかまえられたら……
まっ……まずいぜ～～親分
やろっ!!

うわ
——っ
ぎゃお
——っ



くっ
くそ〜っ
おぼえてやがれ!!

これがわいらの返事!!
とっとといにさらせ

けっ……くっだらねえことぬかしくさってえ……なんじゃいありゃあ
おどしという一番ちゃちな手ですぜこの世界じゃ…

す……すまん親分……
わしらとしたことがあんな運中にかぎつかれちまって……

とっとんでもあらへん…
よくしゃべらんでくれた……礼をいうで……

それより……

あの会社にはやっぱり何かあったんやな
熱気の原因が……
すげえ…とにかくすごいことを研究してまっせ……
まるっきり夢みたいなことを……

あがれあがれ
へい
あがってよう聞かせてくれい！
それで一体なんじゃい
その夢みたいなことってのは
へっ……

へいじゃねえじらさんとはようしゃべらんかい
はっはは親分もそっとおちつけっ
う……
うむ……
じつは新しい建材を使って家を建てる研究をしているんでさ
新しい建材？
へい……いまは　その新建築材料を開発中なんですがね……
その新建材を使って建てると……
一軒の家がわずか二三十万で建つんだそうで……
何っ一軒の家が二三十万で建つ!!
新建材!!

それを 会社が つぶれるのを かくごで 研究 しとるという わけだな
もし 完成 できなんだら パーか……
わしらが その会社の株を 買ったと したら…
すべてが 無か有か…… 運命は その 昭和ハウスと おなじってわけだ……

いちか ばちか やるか… 光五郎 待てい 親分……
こいつは昭和ハウス の社長の人間を みる必要が ある……
三吉(さんきち)!!
へい
いよいよ あっしの出番 ですかい!

われは昭和ハウスの社長に面識はあるのか!!
へえへへへ……
便利屋三吉どんな大物でもわたりはつけてあるぜ……

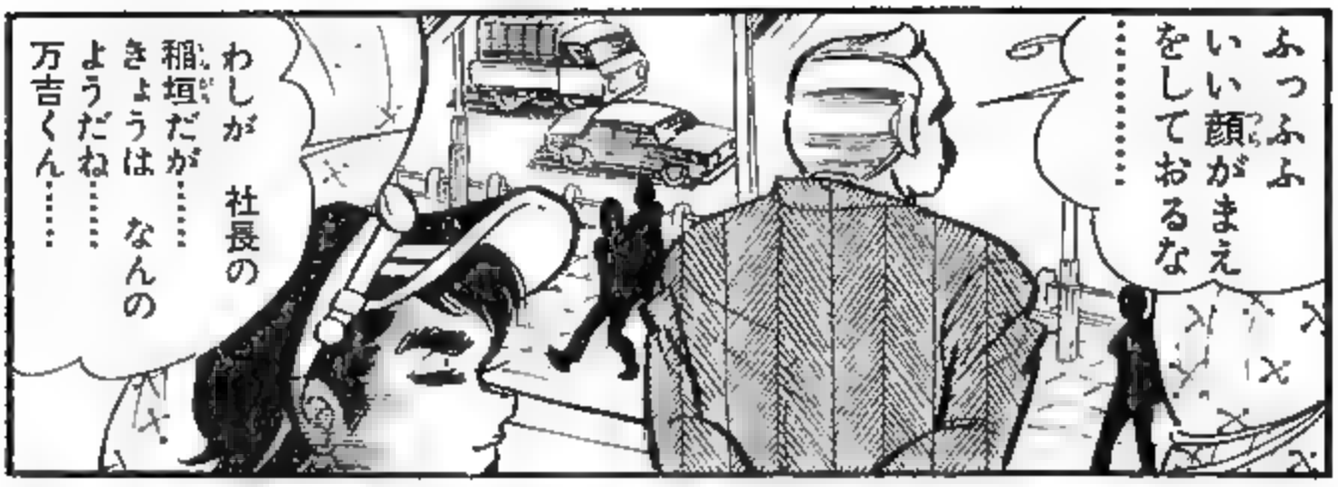
ようしついてこい三吉!!
おうたとえ火の中水の中
それじゃ兄きいってくらあ……
ケへへへ……

あんのやろう

昭和ハウス工業株式会社
熱気のあるボロ会社……
一軒の家が二三十万か……
どんな社長がやっとるか……ふふふ……

さっき電話しておいた便利屋三吉
社長はいるかい！
はいさきほどからおまちしております
おうそうかいそうかい

どうぞ……
おっ……これはこれは社長……
この三吉のためわざわざ時間をさいていただきありがとうさんで
ばかがだれがお前などを待つ……
わしゃあ戸川万吉がくるというから待っておったんじゃ……
へっ……
ガタッ
あんたのことは新聞などでよく知っている……


ふっふふ
いい顔がまえをしておるな……
わしが 社長の稲垣だが……
きょうは なんのようだね……
万吉くん……

おたくで開発中の新建材

完成できるみこみはありまっか？

ふっふふ……
よくしらべたなわが社の極秘を……

その秘密……競争会社へうる気かね
それともこのわしに買ってくれと…

それなら　むだだよ
いまのわしに
金はない
すべて
その新建材に
つぎこんでいる…
なめさらすな……

おたくの
株買おう
いうんや……
そのくらい
調べさせて
もらって 文句は
あるまい

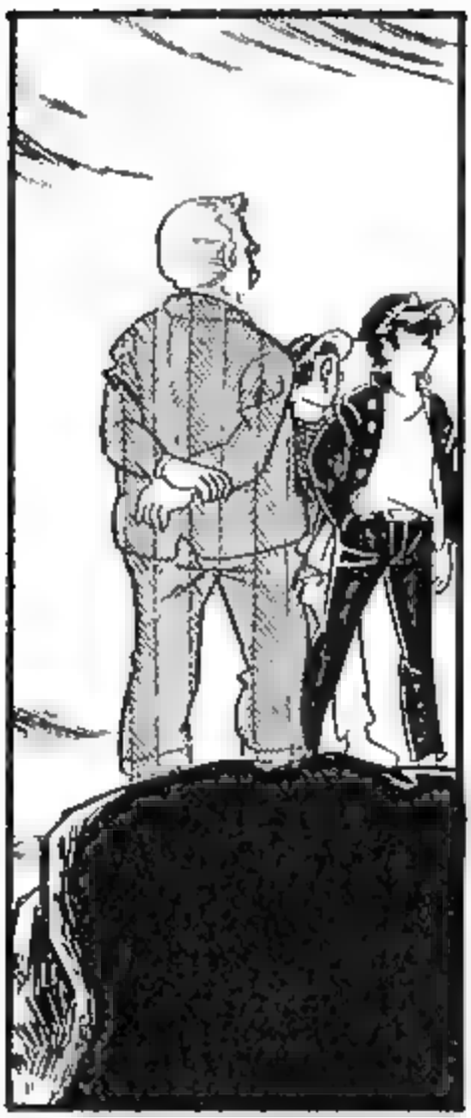
本気か　きみは
本気で　わが社の
株を買う
気か……
いまにも
つぶれそうな
この会社の株を…

つぶれるかも
しれんが
きょうい的に
発展する
かもしれん

はっきり
いう……
この研究の
成功率は
三割もあるまい

それどころか……
あんたらでさえ
つかんだ情報
じゃ……
いまごろ
競争会社も
気がついて
いるだろう
もし　これが
完成したら
いままでの
住宅の価格を
かんぜんに
くずす……
おそらく
かなりの
妨害が
はいるはず
だ……
そうなったら
成功率は
一割そこそこ
じゃろう
九割は
ぶっつぶれる
計算になる……
それでも
買うか
わが社の株を…
二　三十万の
家を作ろう
いうんや
成功率一割
むりないで
その一割の
可能性に
かけられる人か
どうか
みにきたんや
稲垣社長
あなたを
……

ちっ……なまいきなことを
ふっふふふ……
へえっへへへへへ……
話そう……きみを信じてわが社の新住宅の秘密を……
すべてはなそう……
社長!!
そんなことをしてもしこの人が敵だったらどうする気ですか…
きみたちとおなじように……
このすんだ目を持った少年を信じよう…



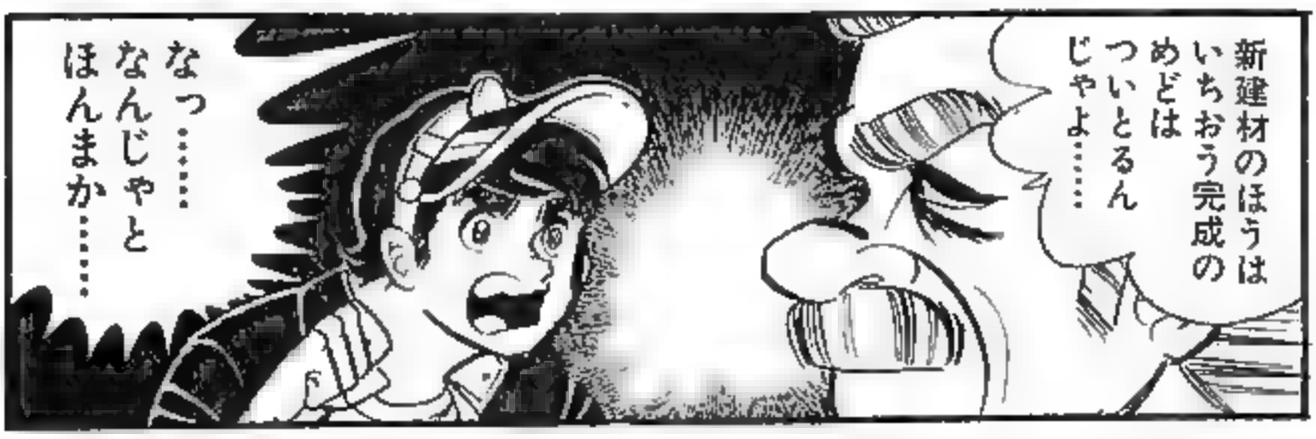
ここが……

この岩壁の上が 新建材を使ってたてるモデルハウスの建設用地だ
わからねえ……
なぜ こんなへんぴなところへ建てるんですか……

競争会社からじゃまされんようにやろ
それもある……

さっきも説明したようにな…
この新住宅は……
すべて組立式だくぎなど一本も使わん……
わが社の指定の工場で大量に組立てるんじゃ……
それをいくつかに分解してトラックで自由に運ぶんでっしゃろ……

そうすれば
工費は
非常に安く
あがるし
時間も
早い……
ふっふふ…
じつを
いうとな
万吉くん……


新建材のほうは
いちおう完成の
めどは
ついとるん
じゃよ……
なっ……
なんじゃと
ほんまか……

はやまるな
新建材が
完成しても
むずかしいのは
この組立て
じゃ……

いくら安く
家ができても
ちょいと
風がふいたら
ぶっこわれる
ようじゃ
どうしようも
ないから
のう…
台風をもろに
うけるこの岩壁に
家を組立てる
んじゃ……
それに
たえられるか
どうか
ためさねば
ならんからね

そこまで…
そこまで考えてはるのんだっか　社長は……

なぜや……
あんさんはなぜそんなにも

わしゃあね万吉くん……
子どものころ四畳半ひと間に親子5人ですんでたんだよ

子ども心になんど……
一戸だての家にすみたいと思ったか……

しかし人間にとって一番安らぎをあたえてくれる家というものが……
いかに高価なものか

安い家を作る
それが
わしの……
一生をかけて
やる夢
なんだよ……
社長!!
ン……
あんさん
競争会社からの
じゃまが入るから
成功率一割
そこそこだと
いうたな……
うむ……
安心して
くれ……
この戸川
万吉が……
どんなことが
あっても
じゃまなど
させん!!

三文長屋
(のび太)

SYOWA
昭和ハウス工業株式会社
壱千株券

ぎゃはは…
げへへ…

これが…… これが株券 ちゅうやつ かい
へえっ へへへ

ほっ ほれ
みてみい
ここに わい
の名前が
でとるで
うひゃ
ほんとだ……
浜門
ぎひひ……

ふっふふ……
一株二十五円
だから
百三十万円で
五万二千株……

信用買いも
いれて 全部で
約十五万五千株
か……
一株が安いから
けっこう
ありますぜ……
しかし 万吉親分
信用買いまでして
もし あの会社
がつぶれたら
どうする…

のこるは
借金だけ
だぜ……
へえっへへ…
いちかばちか
だ……
それより
光五郎
……

関東一円に浮浪者の仲間はなん人ぐらいおるんや…
二万人はくだるまい……

すぐに集めてもらってくれいっ

どんなことがあってもあの稲垣社長をまもる
この戸川万吉がほかの会社なぞにじゃまはさせん

台風なんぞ ぶっとばせの巻

ちいっ
これじゃ手も足もでん！

ふっふ……

スパイ野郎めさぐれるもんならさぐってみやがれ……

あんたのやること
いちいち
はでじゃのう
ふふ……
ケッへへ
……

ほめとるん
だ
わしゃあ……
そいつ
は
どうも
ヘッへ

こそこそ
やるより
ましやけん

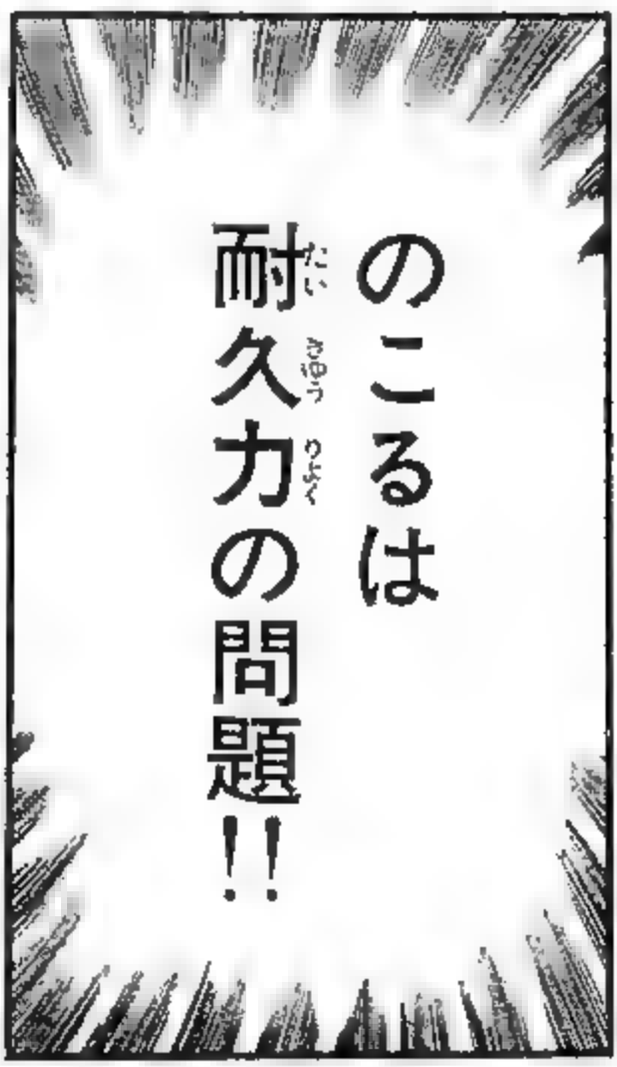
社長!!

どうした
……

やりました……
とうとうやりましたよ社長……
新建材を完成させました!!
なにい
やったか!!

みてください
うむ……
木でも金属でもない……
まったく新しい建材です……
軽く強く……
そしてとかせば自由にさいくできる…
新建材です……
うむ……うむ……
頑張ったなよくやってくれた
やりましたとうとう
社長〜〜っ
昭和新建材ハウス完成!!
新しい建材なのだ
つくり甲斐があるね

毎朝新聞
一軒の家がわずか二～三十万円で
大量生産と画期的工法
8年かけて完成


のこるは
耐久力の問題!!

いやあまったくすばらしいというかなんというか……
住宅が完全に商品化されるんですからなあ

いままでの住宅のイメージを完全にくずしましたね……
ちょっと電気屋で冷ぞう庫を買うのと同じことになりますなあ

しかし
まだ研究の
段階で
あります
それは
耐久力が
どの程度あるか
それが問題だから
です……
そのために
昭和ハウスでは
ちょうちん岬に
モデルハウスを
建てるとのこと…

そのモデルハウスが
台風に耐えられるか
どうか
ためすためです
その
結果によって
昭和ハウスでは
新住宅を　発売に
ふみきるもよう
であります

このため
ほかの
住宅会社
では……

買収はできなかったのか！
うむ〜〜〜…
110
はあ…
それがどいつもこいつもかたくて…
書類をぬすむことは……
はは
はあ…
それがへんな
浮浪者がたくさんみはっておりまして……
そんなことは聞いとらん!!
はっ

須永建設さん
そうリキムな…
ここまできて
しまったら
どうしようも
あるまい……
しかし
……
二～三十万で
家を建てて
みい……
昭和ハウスも
たいした
もうけは
あるまいが…
われわれ住宅専門
の建設会社には
それこそ
命とりになる
……
なあに
二～三十万で
建つ家だ……
台風に
耐えられる
わけは
あるまい！
たとえ
耐えられ
ても……
耐えられ
なかったように
するさ……
ふっふふふ…

白川幸太郎

二～三十万の住宅か……
昭和ハウスの稲垣くん……

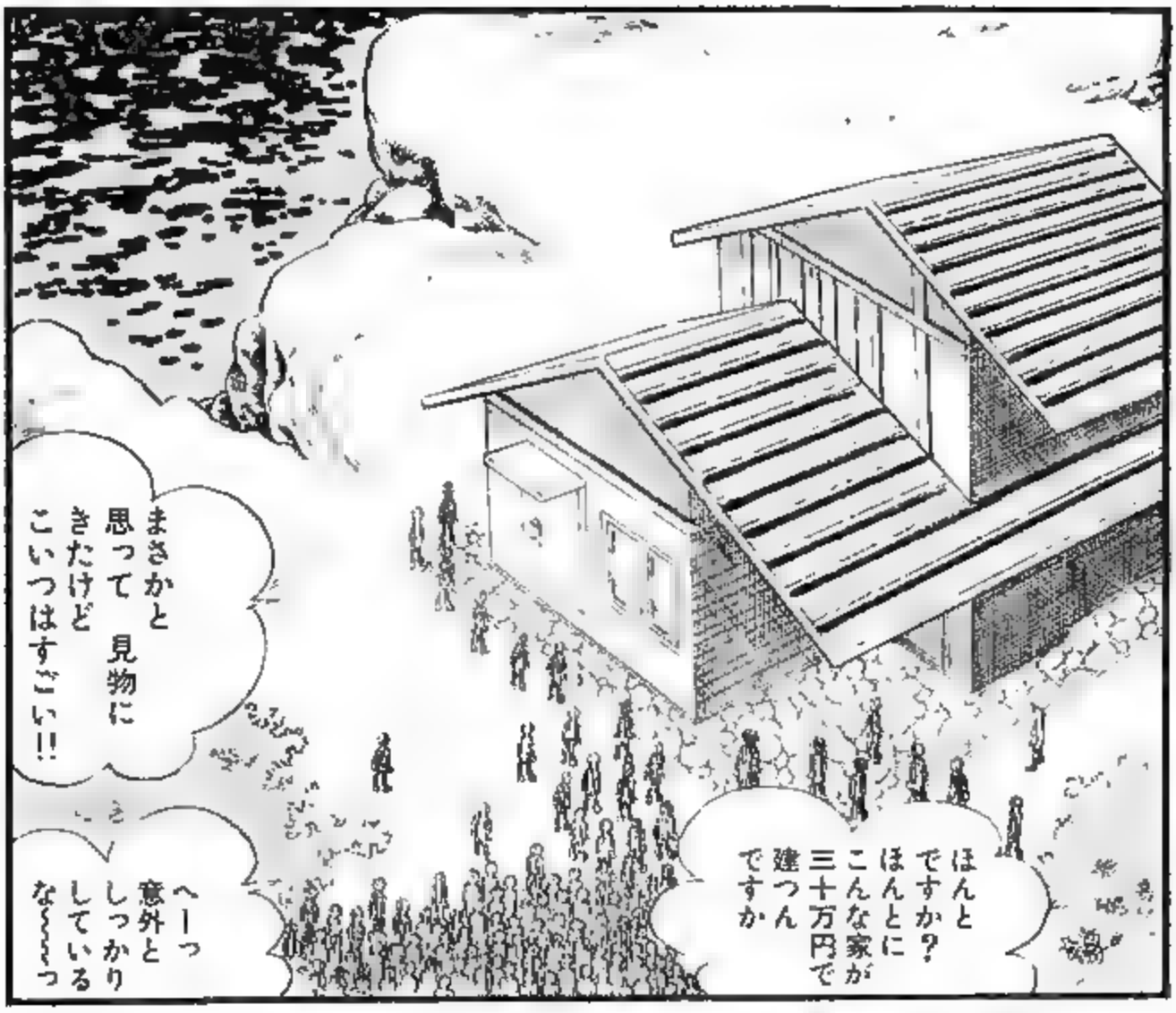
なかなかやるじゃないか……

はあ……

おかげで　わたしの
持っている
二、三の建設
会社も　ひがいを
うけそうです
わい！
ふふ……
そういえば
この昭和ハウスに
れいの戸川万吉とか
いう小僧が……一枚
かんでるそうじゃないか
ごぞんじ
でしたか……
もし
昭和ハウスが
この二、三十万の
家を　完成さす
ことができたら
あの小僧……
かなり
まとまった
金がはいる
……
めんどうな
ことには
ならんかね…
はっはは
は……
わたしも
のっとりや
水戸のばばあ
といわれた女
けちな　細工は
やらんことに
しましたよ……
あの万吉め
このわしに
どれほど近づい
てくるか
じっくり
みまもって
やりますわ…

それはそうと白川先生！
ん……
れいの黒い札たば……
わたしにもひと口のせていただきたいですな…
は～～っ知っておったのかね……
わしがノリをやっておったことを……
地獄耳ですからなわたしゃ……
ふっふふふ…
ばばばわはは

わ!!
わやにわやだ
わやだ
ほえ
うひゃ


ほんとですか？ほんとにこんな家が三十万円で建つんですか
まさかと思ってきたけどこいつはすごい!!
へーっ意外としっかりしているな～～っ

ええーっほんとうです
カチッ
さあ内部も見てください

うひゃ～～っ
こいつはきれいだ
ほんとにすばらしい……

ええか
みんな
わかっとると
思うが……
どんなことが
あっても このモデルハウスを
競争会社から
まもるんじゃ
たとえ
死んでもな
!!

おおーっ
じゅうぶん
しょうちじゃ
万吉親分……
いまのところ
見物人だけで
なにも
あれへんな
社長……
うむ!
しかし
かならず
くるで……
あたりまえだ
それを 待って
おるんじゃ
わしらは……

台風をな！
ちゃう
ちゃう
競争会社の
妨害や
わいの
いっとる
のんは……
そっ……
そうか……
それも
あった
か……
ン……
おっ
おやぶん
あっ……
雨や……
ポツ
ポツ
ポツ
くるでえ～っ
こいつあ
うむ～～
っ

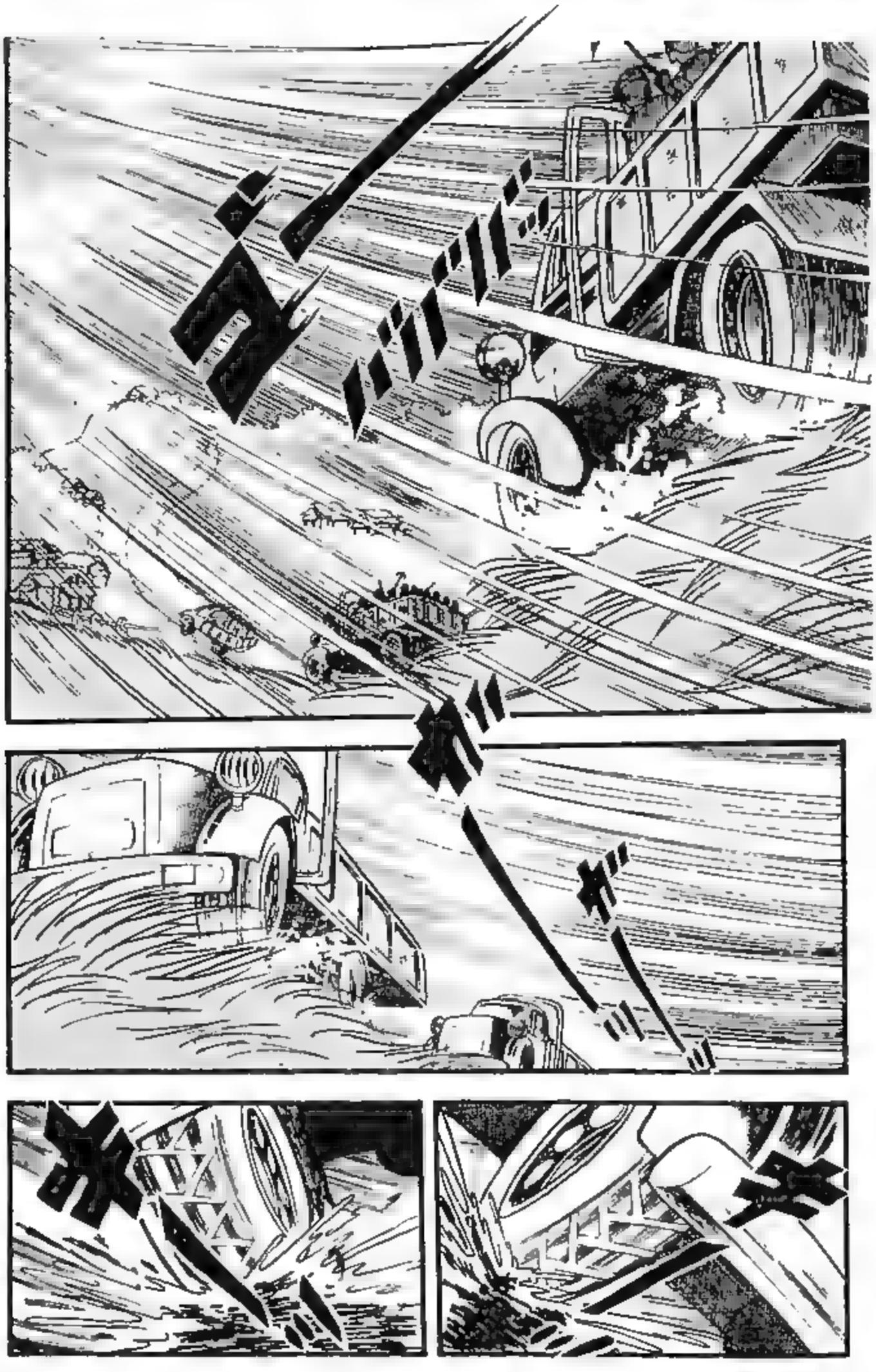
中心気圧
938ミリバール
最大風速
40メートルの
大型台風
十六号は

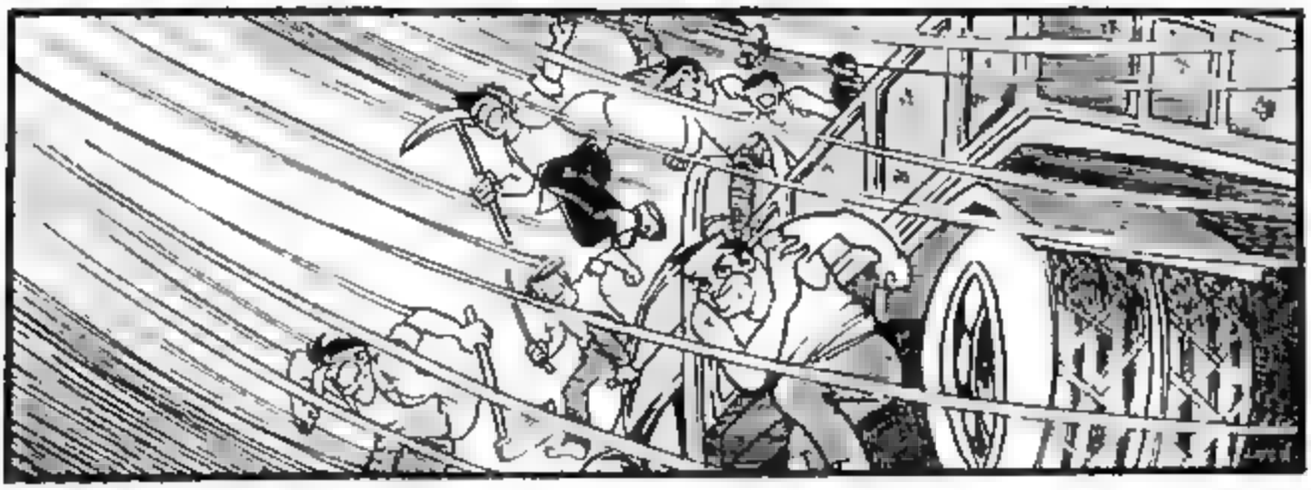
時速45キロの
速度で
今夜十一時……
房総半島
南岸に上陸する
もようです
なお つぎの
台風情報は……

社長
いよいよじゃ
いよいよだぞ

やつらめ
この台風に
まぎれこんで……
ぜったいに
くる!!

くるとしたら
こっちがわの
道からや
モーテルハウス
かけ
銀次
われは
そっちを
まもれ
おおっ
あんさんは
こっちゃを
百人つれて
かためろ
ええか
どんなことが
あっても
まもりきるん
じゃ
指一本
ふれさす
な!!
前から台風
うしろからは
競争会社の
ブタども
どっから
なりと
きやがれ
ふふ…





いいかあ
この台風に
まぎれ
こんで……
あのモデル
ハウスを
たたっこわ
すんだ……

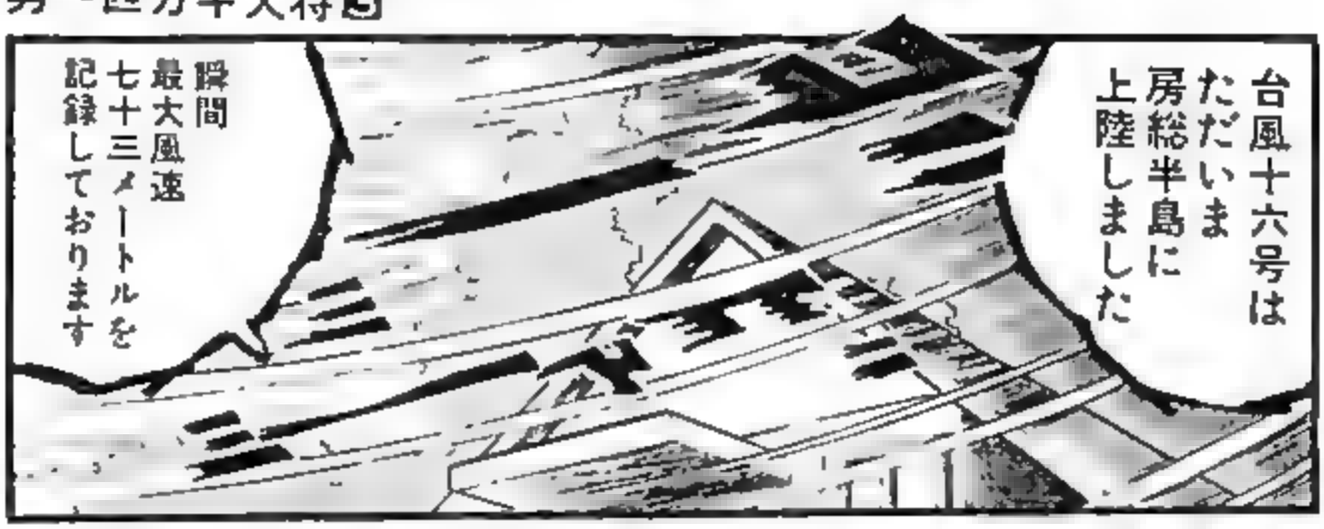
じゃまする
奴がいたら
かまわねえ
たたっ
殺せ!!
おおっ

ふざけるんじゃねえ!!
ああってめえは!!
これから先はなおんどれらみたいなくずどもは

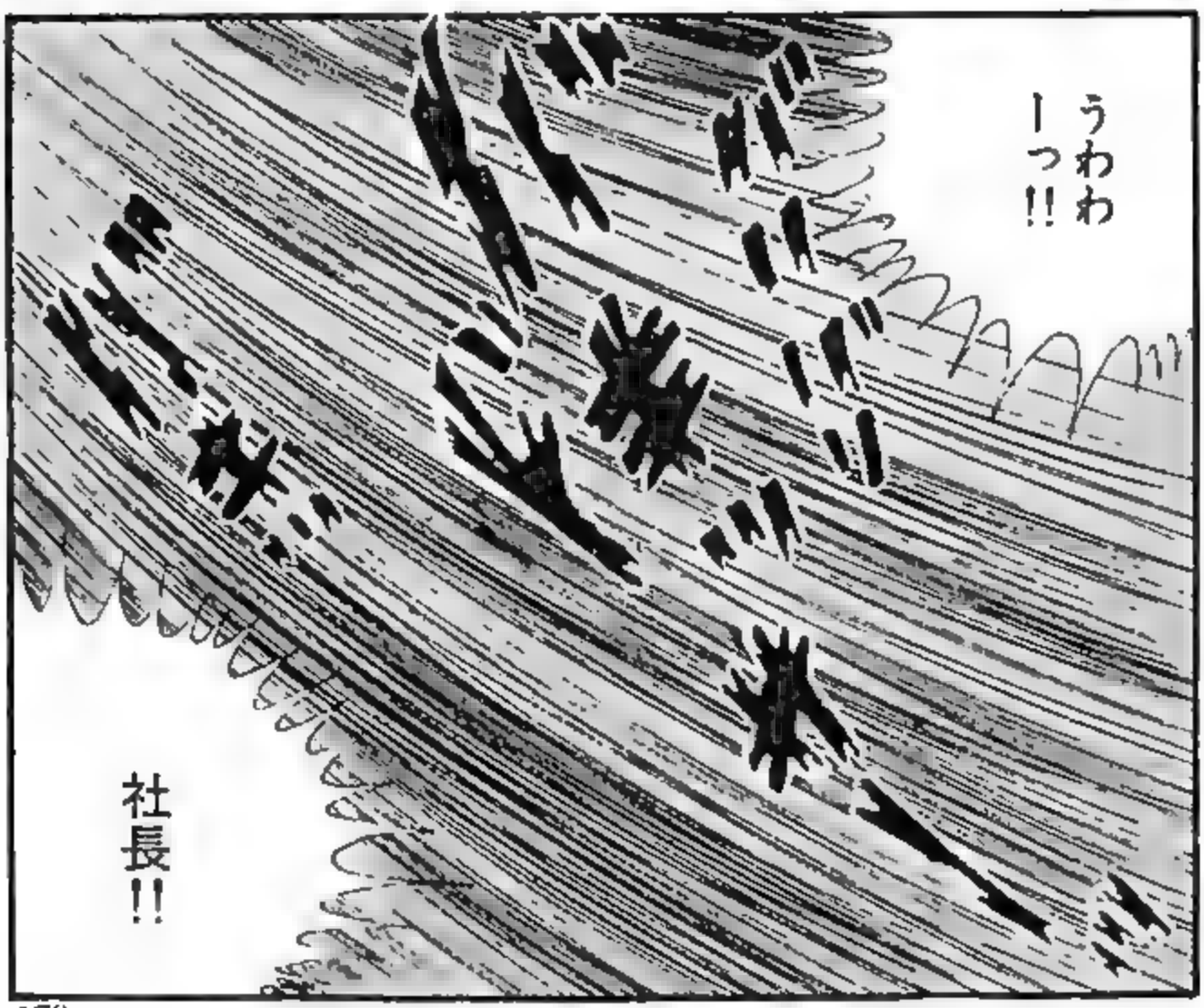
やっぱり
きさらし
おったな
うじ虫めら
あっ
この
戸川万吉さま
一歩たりとも
とおさん!!

ケーッ
しゃら
くせえ
小僧!!

やっち
まえ
おおっ
うじ虫
めら〜〜っ
けちらし
たれ!!
おおっ


台風十六号はただいま房総半島に上陸しました
瞬間最大風速七十三メートルを記録しております

むりだむりですよこいつは
実験にしてはあまりにも大きすぎますよこの台風は……


うわわーっ!!
社長!!

万吉仁王立ちの巻

ZOOOOO
007

むりだ
むりですよ
こいつは
この台風は
あまりにも
大きすぎますよ

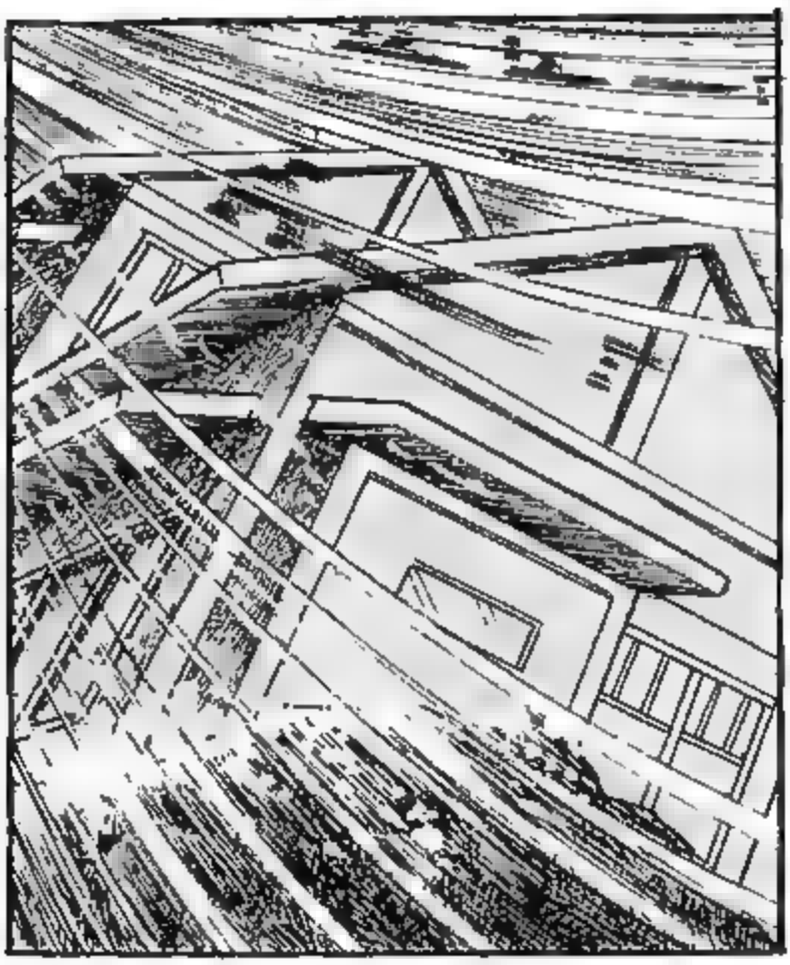
しゃ……
社長
ぶうう
がう
家へはいるぞ……
ええ!!
家の中へ入って台風がさるのをまつんじゃ
そっ……そんなきけんですよ社長!

家がふきとばされたら……われわれの命も……
ばか者!!

じぶんたちの作った家に自信がないのか
自信が……

はっ……はあ
この家に命をかけとるのは

われわれだけではないのだぞっ
われわれだけでは……



これから
先は一歩たり
とも通さん!!

ケーッ
また
きさまらし
おったな!!
カス
どもめ

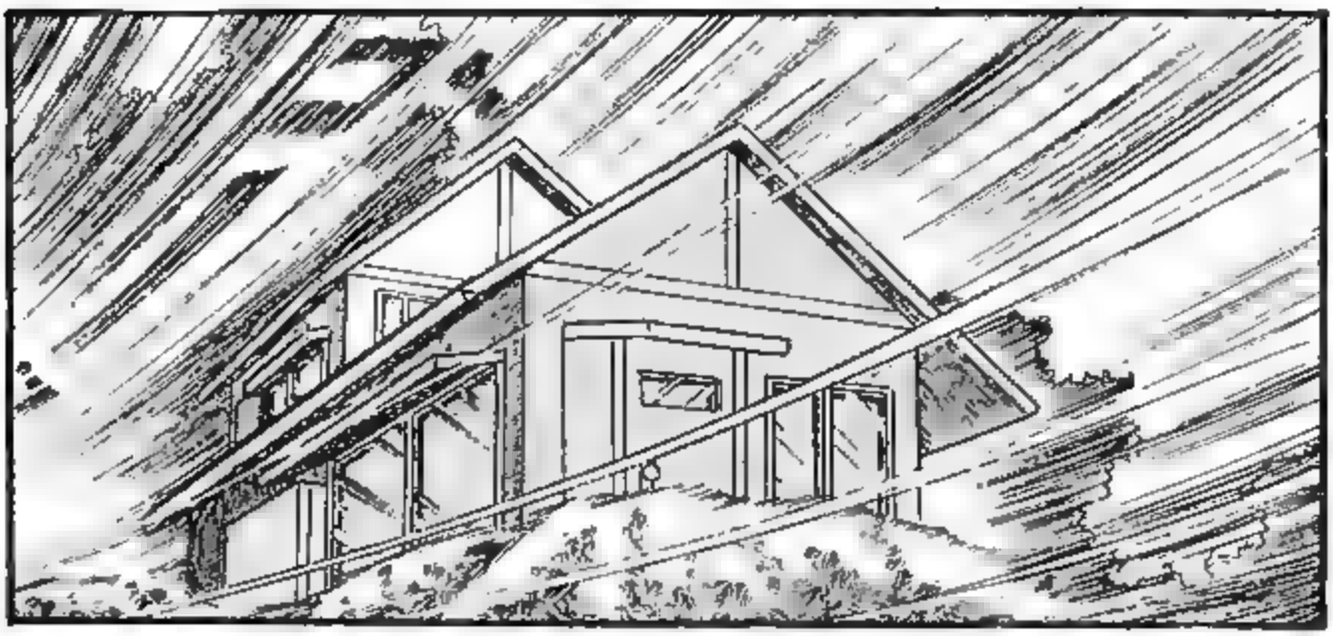
しゃら
くせえっ
小僧!!

やかましい
万吉一家
眼帯の銀次
!!
そいつあ
おれの
こってえ!!
ぎゃ
!!
つづけ
え——っ
おお
——っ

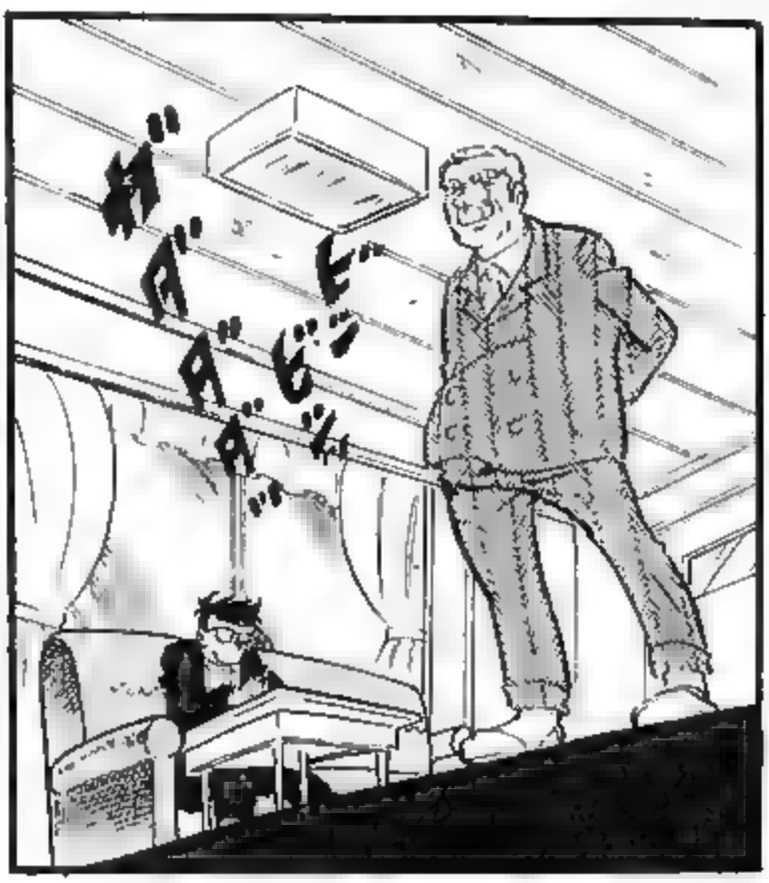
やろう——っ
この浮浪者どもめ
うわーっ
けーっ
くそーっ
ふんぎゃーっ
このカスどもめっ
ぎゅう!!

三吉!!
へいっ!!
住宅のほうへ
ひとりでも
いったら
まずい
二百人ほど
つれて
かためろ
げっ
がってん
しょうち
どけ
いっ
いくぞ
ーっ
おお
ーっ
ふっふ

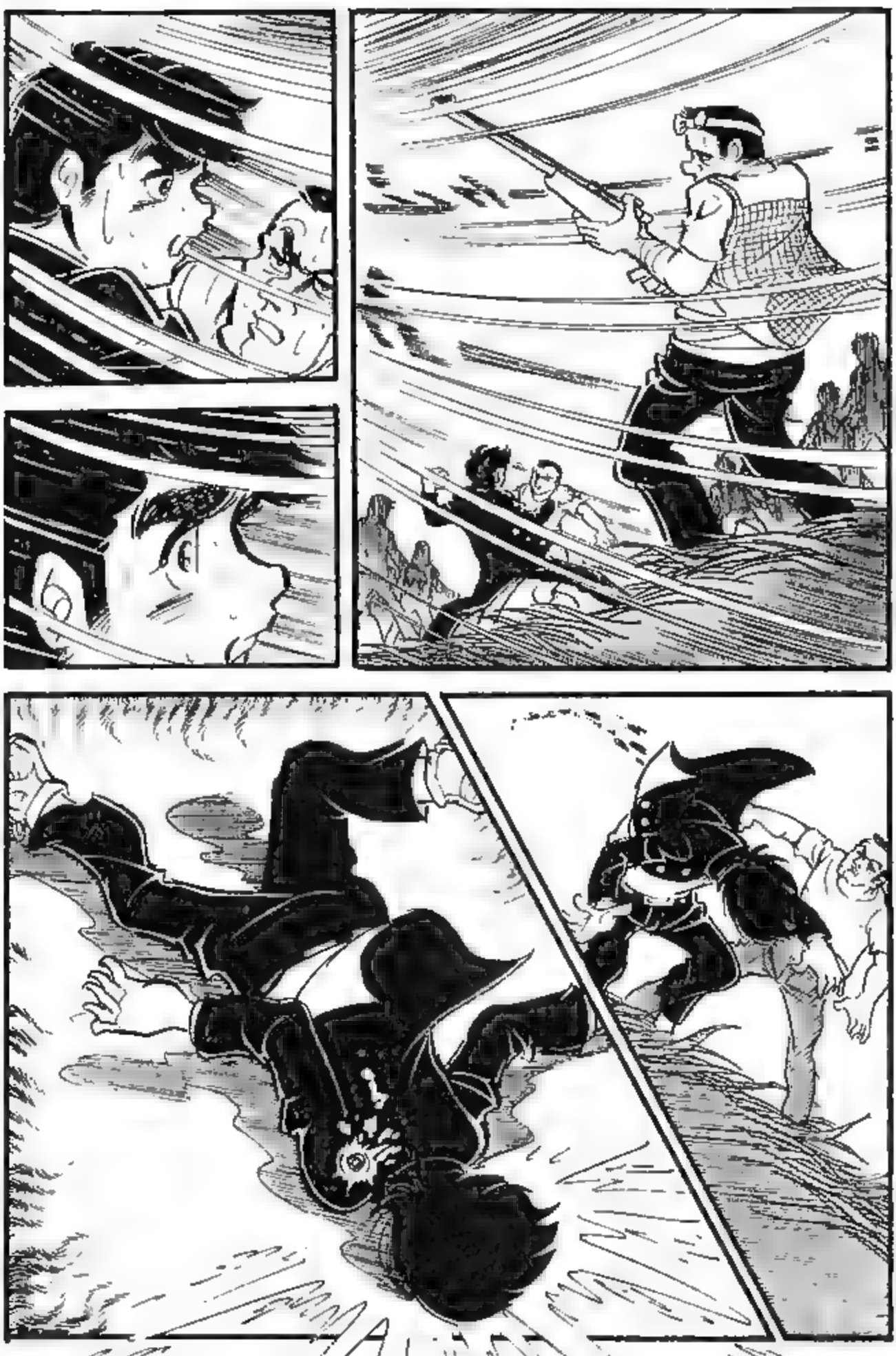
やろーっ
わしもひさしぶりに…
あばれるかあっ!!
げぶっ!!
うおりゃあああ〜〜〜っ



ゴ
ガ
ガ
ビ
ビ


ガ
ビ
ビ

うっ
!! あっ



うっ
あぁーっ!!
親分!!
親分
親分
万吉
親分!!
わーあっ
わあぁーっ
うっ

うわーっ
このやろうーっ!!
ばかやろう!!
うわーっ
この野郎ーっ
よくもよくも
ちくしょう!!

まずい

まずい!!
ぎゃ!!

た…たっ…助けて!!
だったら大声でわめけ

きさまあ～しめ殺してやる
ひーっ

家をぶちこわしたとな
へっ…へい…

やったあ
やったぞっ
家を
ぶちこわ
したぞ!!
モデル
ハウスを
ぶちこわ
したーっ
なにっ
やったか!!
ようしっ
ひけ
ひけーっ
ひきあげろーっ!!

医者だ
医者だ!!
親分を
すぐ医者へ
つれて
いくんだ

うっ……
う～～～っ
あっ!!

鉄砲で
うたれたんは
生まれて
はじめてや

びっくりして
きぜつして
もうたわい
親分!!

うわーっ
生きてる
親分は
親分は
生きとるで

あっ……
あほんだら
そう
たやすく
死んで
たまるか